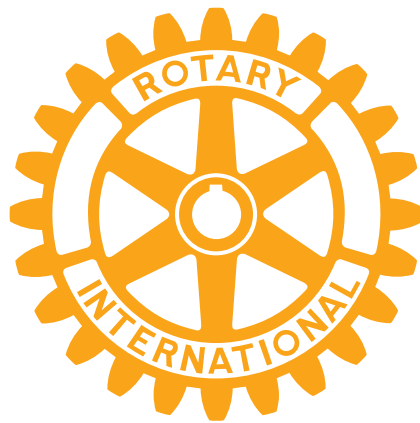


2014～2015 年度 クラブ活動計画書



国際ロータリー第 2790 地区 第 6 分区

東金ロータリークラブ
Togane Rotary Club

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

The Four Way Test

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?



2014～2015 度 東金ロータリークラブ

クラブ活動計画書 目次

ロータリーソング	2
R I 会長メッセージ	4
R I 戦略計画・中核となる価値観	6
R I 会長賞プログラム	8
R I 第 2790 地区ガバナー挨拶	10
第 6 分区ガバナー補佐挨拶	12
東金ロータリークラブ会長挨拶	14
クラブ資料	15
歴代会長・幹事名簿	16
役員・理事・委員会名簿	23
例会行事予定表	24
充填・未充填職業分類表	25
会員名簿	26
入退会者名簿	28
年齢順一欄表	29
誕生・結婚記念日	30
ガバナー公式訪問クラブアッセンブリープログラム	31
東金 R C 交換学生名簿	32
収支予算書	34
収支決算書	36
ポールハリスフェロー基金収支報告書	38
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会功労者一覧	39
ポールハリスフェロー名簿	40
マルチプル・ポールハリスフェロー、ベネファクター名簿	42
年間活動計画	
会 計・・・44	S ・ A ・ A・・・44
ク ラ ブ 研 修・・・45	会 員 増 強・・・45
親 睦 活 動・・・46	管 理 運 営・・・47
社 会 奉 仕・・・47	青 少 年 奉 仕・・・48
ロータリー財団・・・48	米 山 奨 学 会・・・49
ク ラ ブ 奉 仕・・・45	広 報・・・46
職 業 奉 仕・・・47	国 際 奉 仕・・・48
会員写真名簿	50
年間活動記録	56
第 6 分区 IM の記録	66
東金ロータリークラブ定款	68
東金ロータリークラブ細則	78
東金ロータリークラブ基金造成規定	83
慶弔見舞規定	84
第 2790 地区組織表	85
第 2790 地区組織図	88
第 2790 地区クラブ事務所一覧	90
第 2790 地区連絡先一覧	98
新入会員紹介書式	



ロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の^{なりわい}業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

我等の生業

我等の^{なりわい}生業 さまざまなれど
集いて図る 心は一つ
求むるところは ^{やわらぎむつみ}平和親睦
^{つと}力むるところは 向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

手に手つないで

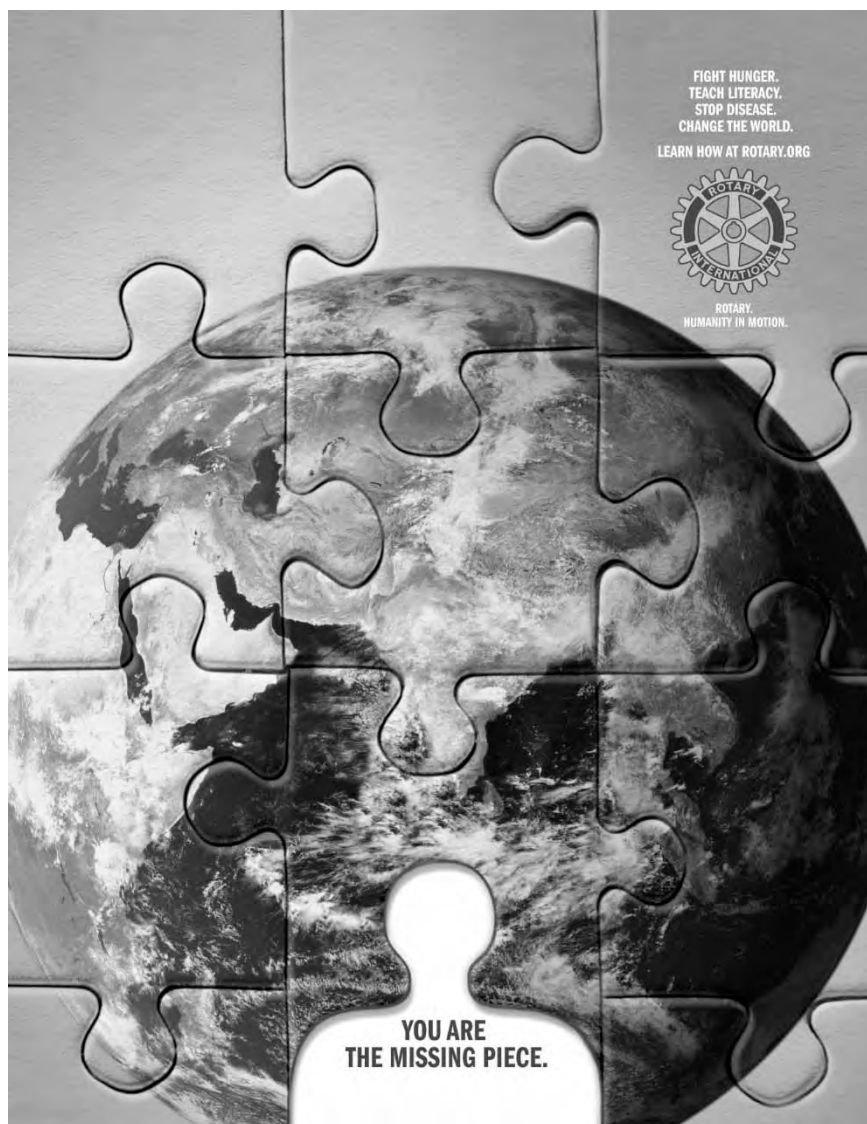
手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ 一つ心に
おゝロータリアン
おゝロータリアン

それでこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

R O T A R Y

R-O-T-A-R-Y
That spells Rotary ;
R-O-T-A-R-Y
Is known on land and sea ;
From North to South, From East to West ;
He profits most Who serves the best ;
R-O-T-A-R-Y
That spells Rotary ;

**Object of Rotary**

(ロータリーの目的 英語版)

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

FIRST. The development of acquaintance as an opportunity for service;

SECOND. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

THIRD. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

FOURTH. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.



国際ロータリー会長メッセージ

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-15 年度RI 会長 ゲイリー C.K. ホアン

GARY C.K. HUANG

ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、1世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。

創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。

私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華的価値観と重なるところがあるからだと思います。

ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言っ

てもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以上前、孔子はこう述べています：

まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。

ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していく必要があります。

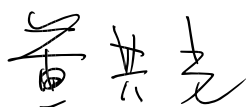
2014-15 年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、**ロータリーを輝かせてください**。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状

を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的で興味をそそるものにするために何をできるか考えてみましょう。

さらには、ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を3倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合いましょう。

2014-15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。



ゲイリー C.K. ホアン
2014-15年度国際ロータリー会長

ゲイリー C.K. ホアン (台湾台北)

国際ロータリー会長 (2014-15 年度)

ロータリー財団管理委員 (2004-06 年度)

国際ロータリー副会長 (2001-02 年度)

国際ロータリー理事 (2000-01 年度)

ゲイリー C.K. ホアン氏は、中国の南部に生まれ、台湾で育ち、米国のイースタン・ミシガン大学を卒業した後、ニューヨーク州の保険大学で MBA 取得されました。ホアン氏は、マラヤ華僑保険会社の社長を務めた後、現在は新光セキュリティー会社の名誉会長となっております。

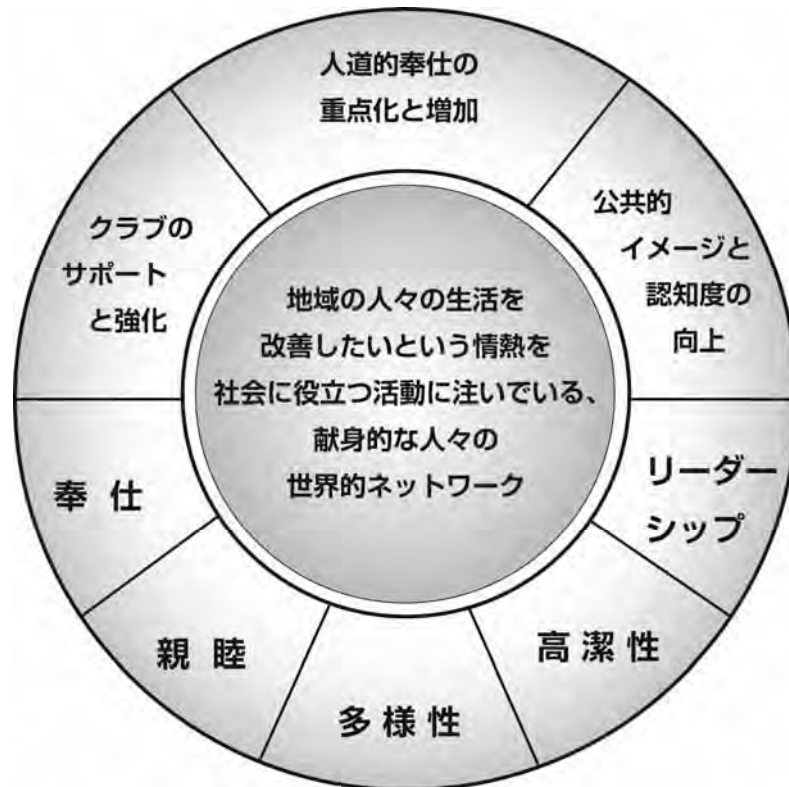
台湾非営利連盟から台湾市民奉仕賞、台湾内務省より卓越した社会奉仕貢献賞を受賞され、2001 年のロータリーの国際大会では、米国テキサス州サンアントニオ市から「名誉市長」という称号を贈られました。

1976 年以來のロータリアンであるホアン氏は、台北ロータリークラブの会員で、地区ガバナー、Ri の理事、副会長、財団管理委員、ならびにその他数多くの委員会やタスクフォースの委員ならびに委員長を歴任されました。

氏は、アジアにおけるロータリーの会員増強に多大な貢献をされたほか、ロータリーの 100 周年記念には、ロータリー財団管理委員として、台湾に 100 名の新しいメジャードナーを誕生させる目標を立てました。その結果 2005 年には 106 名、2006 年には 103 名のメジャードナーが生まれ、当時の年次プログラム基金に 200 万米ドルを超える寄付を集めたことに成功しました。

ビジネスとロータリーでの経験をつづった著書『Finding Solutions, Not Excuses』を出版し、RI 超我の奉仕賞、会長賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞されたホアン氏は、コリーナ夫人との間に、息子さんが1人、娘さんが2人おられ、全員がロータリー財団のメジャードナーです。

R I 戦略計画 Rotary International Strategic Planning



「クラブのサポートと強化」の目標

- ・ クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・ さまざまな奉仕活動に参加するよう奨励する
- ・ 会員の多様性を増進する
- ・ 会員の勧誘と維持を改善する
- ・ リーダーを育成する
- ・ 新クラブを結成する
- ・ クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する

「公共イメージと認知度の向上」の目標

- ・ イメージとブランド認知を調和させる
- ・ 行動を主体とした奉仕を推進する
- ・ 中核となる価値観を推進する
- ・ 職業奉仕を強調する
- ・ クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励する

「人道的奉仕の重点化と増加」の目標

- ・ ポリオを撲滅する
- ・ 以下の分野における奉仕の継続性を高める
 - ・ 新世代奉仕プログラム
 - ・ ロータリーの6つの重点分野
- ・ 他団体との協力やつながりを深める
- ・ 地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

www.rotary.org/ja/strategicplan



中核となる価値観



ロータリーの中核となる価値観は、組織内においてロータリアンが何を優先させ、どのような行動を取るかという指針を含めた、組織文化の指導原理を表すものです。これらの価値観は、ロータリーの長期計画において、ますます重要性を増している構成要素です。こうした価値観は、当組織のリーダーシップの意図と方向性を示す原動力となるものです。

これらの中核となる価値観はすべて、私たちが日常使用している「ロータリーの綱領」と「四つのテスト」に反映されています。これらの価値観は、人間関係における高い倫理基準を定め、維持していくため、奉仕の理想を培い、支持するよう、私たちを鼓舞・激励するものです。

奉仕

ロータリーの奉仕活動とプログラムは、さらなる世界理解と平和をもたらすものであると、私たちは信じている。奉仕は、私たちの使命の主要な要素である。私たちは、個々のクラブの計画と行動を通じて、奉仕する者に無類の喜びを与え、組織全体に奉仕の文化を創造しているのである。

親睦活動

個人による奉仕活動は個々のニーズに焦点を当てるものであるが、協力して行う奉仕活動は人類に奉仕するものであると、私たちは信じている。力を合わせて活動すれば、その力は無限となり、多くのリソース（資源）をもたらし、私たちの人生を豊かにし、視野を広げるものとなる。親睦は、民族や国家といったさまざまな違いを超越し、寛容の精神へと導くものである。

多様性

ロータリーは奉仕の理想の下にすべての人々を国際的に結束させると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また活動や奉仕において、職業の多様性を信じている。事業や専門職務の社会を反映させているクラブが、将来の繁栄の鍵を握るクラブである。

高潔性

私たちは、活動の結果について、また、目標達成の過程においても、私たちのリーダーや同僚会員が説明責任を果たすことを約束し、期待している。私たちは、仕事においても人間関係においても、倫理と職業の観点から、常に高い基準を固く守っている。私たちは、公平さと尊敬の念を保ちながら人々と付き合い、また、私たちに託されたリソース（資源）を良心的に管理する。

リーダーシップ

私たちは、それぞれの活動分野におけるリーダーから成る世界的な集まりである。私たちは、指導力を伸展させることの重要性、および会員の優れた資質としてのリーダーシップを信じている。ロータリアンである私たちは、これらの中核となる価値観を率先して実行していくリーダーである。



2014-2015年度 会長賞

2014-15 年度 国際ロータリー会長

デイリー C. K. ホアン

「ロータリーに輝きを」は、単に今年度のテーマにとどまるものではなく、ロータリーをより力強くするために会員一人ひとりが行動することを呼びかけるものです。2014-15年度会長賞は、会員基盤を広げ、奉仕の効果を高め、ロータリーのネットワークを広げるために行動を起こしたロータリークラブを表彰します。

手続き

クラブは、この書式を用いて、2014-15年度の活動を計画し、達成項目を報告することになります。クラブが会長賞の受賞資格を得るには、各活動項目で特定のポイントを満たし、カテゴリーごとに必須項目1つを満たす必要があります。特記されていない限り、すべての活動項目は、2014年7月1日から2015年3月31日までに実施、完了してください。

受賞資格を満たしたクラブは、この書式に漏れなく記入し、3月31日までに地区ガバナーに提出します。国際ロータリーに直接提出された書式は、受理の対象とはなりませんのでご注意ください。

地区ガバナーは、受賞資格を満たしたクラブ名を、4月15日までに国際ロータリーに提出する必要があります。地区内クラブの50%以上が会長賞の受賞資格を満たした場合、その地区のガバナーも特別に表彰されます。

ロータリーに輝きを：会員増強

必須項目

7月1日から3月1日までの間に、会員純増を達成する。一つに印を付けてください

■ 会員1名の純増（5ポイント）

■ 1～4%の会員純増（10ポイント）

□ 5～10%の会員純増（15ポイント）

□ 10%を超える会員純増（20ポイント）

「ベストクラス」のクラブ会長チャレンジ（任意）

□ クラブ会長自らが、新会員2名を推薦する（5ポイント）

その他の項目

■ 「ロータリークラブ・セントラル」で2014-15年度の会員増強目標を提出し、その目標を達成

する（5ポイント）

□ ロータリーのウェブサイトにある My Rotary で全会員がプロフィールを作成する（5ポイント）

■ リーダーシップ育成に関するクラブの年次目標において全会員が何らかの役割（リーダー的役割、委員会や小委員会の委員、またはプロジェクトでの任務）を担い、会員の積極的な参加を推進する¹（5ポイント）

■ クラブの会員維持率を、前年度よりも少なくとも1%増加させる（5ポイント）

□ クラブに少数しかいない（または一人もいない）属性グループ（例：女性会員、若い会員、新しい職業分類、異なる民族など）の新会員を少なくとも2名を入会させることによって、会員基盤の多様化を図る（5ポイント）

□ 元ローターアクターやロータリー学友を入会させる。または、ほかのクラブに紹介する（年度中に入会した元ローターアクターあるいはロータリー学友1名につき5ポイント）このカテゴリーで資格を満たすには、最低30ポイントを得る必要があります。

・合計ポイント _____

ロータリーに輝きを：奉仕

必須項目

少なくとも一つのロータリー重点分野に関連する、地元あるいは海外での奉仕プロジェクトに参加する²。

・平和と紛争予防／紛争解決

・疾病予防と治療

・水と衛生

・母子の健康

・基本的教育と識字率向上

● 経済と地域社会の発展

一つに印を付けてください

■ 上記に該当する活動を実施（10ポイント）

□ グローバル補助金プロジェクトの一環として、上記に該当する活動を実施（15ポイント）

「ベストクラス」のクラブ会長チャレンジ（任意）

□ クラブ会長自らが、ロータリー財団に寄付をする（5ポイント）



その他の項目

■ロータリークラブ・セントラルで2014-15年度の財団寄付 目標を提出し、その目標を達成する（5ポイント）

■地域社会での募金活動を通じてポリオ撲滅を支援する。または、ポリオ撲滅活動におけるロータリーの貢献を伝えることを目的とした認識向上キャンペーンを実施する（5ポイント）

□会員の最低10%が、ロータリーの定期寄付プログラムに登録する（5ポイント）

□ロータリー平和フェローを推薦する。または、ロータリー平和フェローを支援する他のクラブを援助 する（5ポイント）

■ベネファクター、遺贈友の会³会員、ポール・ハリス・ソサエティ⁴会員の合計人数を、少なくとも1名 増やす（5ポイント）

■正会員全員が、ロータリー財団年次基金に寄付をする⁵（10ポイント）

■年次基金への一人当たりの寄付額平均が100ドルに達する（10ポイント）

このカテゴリーで資格を満たすには、最低30 ポイントを得る必要があります。

合計ポイント _____

ロータリーに輝きを：ロータリーファミリー

必須項目

地元あるいは地区の「ロータリーデー」⁶行事を主催、あるいは参加して、ロータリアンでない人をロータリーに紹介する。

一つに印を付けてください

■最低5名の会員がロータリーデーの行事に参加（10ポイント）

■ロータリーデーの行事をクラブが主催（15ポイント）

「ベストクラス」のクラブ会長チャレンジ（任意）

□クラブ会長自らが、3月31日までに、サンパウロで開催される2015年RI国際大会に登録する（5ポイント）

その他の項目

□クラブ会長以外の会員が、3月31日までにサンパウロで開催される2015年RI国際大会に登録する（登録した会員1名につき5ポイント。最高10 ポイントまで）

□最低10%の会員が、共通の関心をもつロータリアンの集まりであるロータリー親睦活動グループ、またはロータリアン行動グループのメンバーとなる（5ポイント）

□会員の少なくとも半数が、ロータリーのウェブサイト（rotary.org）のオンラインフォーラムに参加する（5ポイント）

□若者を対象としたキャリアデー、または職業指導プログラムを実施する（5ポイント）

■クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページに、ロータリーの新しいビジュアルアイデンティティのガイドラインを適用する（5ポイント）

□新しいローターアクトクラブ、またはインターアクトクラブを提唱する（10ポイント）

□新しいロータリー地域社会共同隊を提唱する（10ポイント）

□新しいロータリークラブのスポンサークラブとなる（20ポイント）

このカテゴリーで資格を満たすには、最低40ポイントを得る必要があります。

合計ポイント _____

ロータリークラブ名： _____

クラブ会長の氏名： _____

※3月31日までに、漏れなく記入した書式を地区ガバナーに提出してください。

1「指導力育成：プログラムを始めるための手引き」（出版物番号250）をご参照ください。

2「ロータリーの重点分野ガイド」（出版物番号965）をご参照ください。

3「Your Rotary Legacy」（遺贈寄付のパンフレット）（出版物番号330）をご参照ください。

4「ポール・ハリス・ソサエティ」のパンフレット（出版物番号099）をご参照ください。

5「EREY」のパンフレット（出版物番号957）、および「ロータリー財団参照ガイド」（出版物番号219）をご参照ください。

6「ロータリーデー」のパンフレット（出版物番号900B）をご参照ください。



地区活動方針「原点回帰」を目指し

国際ロータリー第2790地区

2014-15年度ガバナー

宇佐見 透

(千葉幕張ロータリークラブ)

国際ロータリー第2790地区会員の皆様、ロータリーは1905年の創立から1世紀余を経て、世界が大きく変化したのに対応すべく新たな舵を切ろうとしております。皆様と輝きに満ちた新年度を迎える喜びを共有し、理想を追い求め、緊張感を持って歩んで参ります。確かな未来を築くため、朋友ロータリアン皆様との船出にボン・ボヤージュを祈念申し上げます。RI会長 ゲイリーC.K. ホアン氏は、2014-15年度ロータリーテーマを「Light Up Rotary」日本語訳「ロータリーに輝きを」とする事を提唱されました。世界には問題が山積みとなっており多くの人々が助けを必要としています。しかし自分に出来る事は無いと思い込み、ただ座っているだけで何もしない人が大勢います。ホアン会長は2400年程前の中国の思想家である“孔子”の教えである『ただ座って暗闇を呪うより、1本のろうソクを灯した方が良い』更に『まず、自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、そして国家を治めてこそ、天下が平和となる』と説かれた事から、クラブをより強力なものとし、地域社会においてロータリーの存在感を高めることでロータリーに輝きをもたらして欲しい。私が一本、貴方が一本、と全世界120万人のロータリアン全会員が各々ろうソクを灯し力を合わせれば、世界を光で輝かせる事が出来るのです」との熱い思いを語られました。

ロータリーは『今やっていることだけを未来永劫変えることなく、続けてゆく』という考え方から、『変わりながら続けてゆく事の大切さ』を、改めて考えて頂きたいと思います。今年度、ガバナーとして地区の皆さんと「原点回帰」を合言葉に、変革を恐れずに活動して参ります。「Light Up Rotary!」「ロータリーに輝きを!」のテーマと共に。

2000年にRIより地区に対しDLPを検討する旨の要請がありました。その後はRI理事会より、ガバナーは地区組織を構成するうえでDLPの構成に準拠したプランを確立するよう要請されています。DLPの確立は、各クラブでそれぞれ独自に検討、取り組まれているCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)の明確化に繋がります。ただCLPについての裁量権はあくまでもクラブにありますので、研修委員会セミナー、AG訪問、ガバナー公式訪問、などあらゆる面を通じてDLPの確立とCLPの位置づけを明確にします。ロータリーは単年度制度であり組織は毎年若干変わりますが、クラブには自治権、裁量権がありますので推奨という範囲内で、以下掲げます強調事項に沿った活動を要望致します。

1. クラブ内に新たな管理運営委員会を組織頂き、更に各クラブ研修委員長と地区研修リーダーによるクラブ活性化の推進を図りたいと考えます。送付致しましたクラブ役員キットの会長要覧と共にクラブ管理運営委員会の手引きを参考にして下さい。(標準クラブ細則第8条第1節をご参照ください)
2. 増強活動と広報活動は最重要活動であり、二つの委員会はそれぞれ独自に活動する事が推奨されています。次年度の増強目標は各クラブで純増1名をお願いします。
3. 広報に関しロータリーがどのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」を開催するようクラブ毎で検討下さい。ローターアクターやインターアクターの方々に参加してもらい、新世代の若者たちが、いつの日かロータリーに入会してくれるよう声をかけて下さい。



4. 奉仕プロジェクト委員会は地区補助金（D D F）やワールドファンド（WF）を使った効果的プランを検討し各クラブにおける情報から、蒔いた種を充分に育て、資金管理を行っている財団委員会と協議し最後刈り取るまで委員会で統括して下さい。
5. 青少年奉仕委員会は、次世代を担う若い世代の健全育成を目的に、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、青少年交換委員会、RYRA委員会の四部門で構成しました。地域の方々、顧問教師の方々、保護者の方々による理解が必要で地域社会との太い信頼関係が無ければ成立しません。今年度はロータリーデー等の行事において、地域社会との融合を保つ活動を行って下さい。特にローターアクトの方々には未来のロータリアンとしての対応を望みます。
6. 東日本大震災によって保護者を失った災害児童への教育支援として「希望の風」活動はロータリーの次世代を考えた活動としてふさわしく優れた意味を持っています。好ましい公共イメージは、ロータリーの質の向上に繋がり、結果会員増強及び奉仕志向を持たれる会員増となりさらにレベルアップします。今年度特にご支援下さい。
7. ポリオ撲滅活動ですが現在の状況から“2018 年のポリオ完全撲滅最終チャレンジ”を支援します。ホァン会長は「ポリオを撲滅すれば、ロータリーが偉業を成し遂げる力を備えた組織であることが実証されます。そして次なるチャレンジのための土台を整えましょう。重要なのは永遠に続くプレゼントを世界に贈れることです。」と結ばれました。ポリオ最終作戦にご協力をお願いします。

略		歴	
氏 名	宇佐見 透 (うさみ とおる)	ロータリー歴	
生年月日	1952(S27)年 4月 19日(62歳)	1982 年 10 月	千葉幕張ロータリークラブ入会
職業分類	酒精飲料	2002-2003 年	同クラブ 幹事
所属クラブ	千葉幕張ロータリークラブ	2005-2006 年	同クラブ 会長
最終学歴	千葉工業大学 工学部	2007-2008 年	ガバナー月信編集委員
		2008-2009 年	地区 R 財団奨学金委員長
認 証	ポール・ハリス・フェロー	2009-2010 年	地区 R 財団補助金委員長
	マルチプル・ポール・ハリスフェロー	2010-2011 年	地区第 3 分区ガバナー補佐
	ポール・ハリス・ソサエティ	2011-2012 年	地区 R 財団補助金委員長
	ベネファクター	2012-2013 年	第 2790 地区ガバナーノミネー
	米山功労者	2013-2014 年	第 2790 地区ガバナーエレクト



ご挨拶

国際ロータリー第2790地区 第6分区

2014-15年度第6分区ガバナー補佐

諏訪 武士 (大多喜ロータリークラブ)

間もなく、2014-15宇佐見年度が始まろうとしております。

宇佐見会長が言われる宇佐見丸の出航ということになります。その船の中ではほぼ最年少となります、大多喜ロータリークラブの諏訪武士です。

ロータリーに入会させていただき15年ほど経ちました。入会時は25歳だった私も40歳になりましたが、それでも他のガバナー補佐の方々を見回せば大先輩がズラリと並んでおられます。

その中で地区内最大の分区をお預かりしたことへの緊張はいかばかりか、そうした意味もあり、昨年より始まったガバナー補佐エレクト会議はまさに冷や汗の連続でした。これまでのほとんどホームクラブに在籍しロータリーについての知識の不足、他クラブとの交流の薄さと他の方々に比べれば何とも未熟な自分を痛感しています。残り短い準備期間で学べるだけ学んでいく所存です。

さて、そんな私ではございますが、できれば若さを少しでも生かした私らしいガバナー補佐でありたいと考えております。

現在地区の増強は都市部では一定の成果があがる一方、第6分区のある外房エリアでは芳しいとは言えない状況にあります。この状況を如何に改善していくかが、私の任務のひとつであると考えます。

そのためには、地区には各委員会のサービスと能力の向上に努めていただくよう求めて行くつもりでございますし、各クラブにはその地区を使い倒すつもりで活用していただきたい。ガバナー補佐についても同様です。

可能な限りフットワーク軽く分区内の各クラブの発展に貢献できればと思いますし、地区とクラブの有機的な接点として多くのクラブの声を聴くことができればと考えております。地区幹事の皆様、各地区委員会の皆様には、いろいろな要求をさせていただくことであろうかと存じますし、各クラブの皆さまにもご苦勞をお願いすることになろうかと存じますが、どうぞ皆様のクラブの発展の集積による地区の発展とお考えいただきご協力、またご指導を賜りますようお願い申し上げます。



《略歴》

氏 名 諏訪 武士 (すわ たけし)
生年月日 1973 年 (昭和 48 年) 11 月 13 日
現 住 所 〒297-0036
茂原市下永吉 190-1
職業分類 コンサルタント業
大多喜町国際交流協会理事
大多喜町お城まつり実行委員

《 ロータリー歴 》

1999 年 9 月 大多喜ロータリークラブ入会
2001 年～04 年 クラブ幹事 (3 期連続)
2005 年～06 年 クラブ会長 (1 回目)
2008 年～ 9 年 クラブ幹事
2010 年～11 年 クラブ会長 (2 回目)
2011 年～12 年 クラブ幹事
2012 年～13 年 クラブ会長 (3 回目)
2013 年～14 年 クラブ幹事
2006 年～09 年 地区 RYLA 実行委員



会 長 挨 拶

東金ロータリークラブ

2014～15 年度会長

高橋 邦夫

東金ロータリークラブは日本で 325 番目、千葉県下で 11 番目のロータリークラブとして、昭和 34 年 9 月 15 日に創立されました。

5 年前「創立 50 周年記念誌」の編集に携わりながら、クラブの創立にご苦勞された方々のご功績について、深い感銘を受けておりました。創立から今日に至るまでの東金ロータリークラブの歩みは、誇り高く品位を保ちつつ、輝かしい活動の歴史を刻んでおります。この間、担当された歴代の会長・幹部の方々のご苦勞は、それぞれの場面で筆舌に尽くせぬ困難と大変さがあったものと、改めて敬意を表する次第であります。

さて、ゲイリー C. K. ホアン国際ロータリー会長は、2014～15 年度のスタートにあたって LIGHT UP ROTARY『ロータリーに輝きを』のテーマを示されました。そしてロータリーファミリーの拡大によるクラブの強化と、ポリオの撲滅という人類史上の一大事業の実現を大きな目標として掲げ、ただ問題を座視するのではなく、自ら灯を掲げて行動することの大切さを訴えたのであります。私たちは、協力して、ホアン会長の熱望に応えたいと思います。

さらに、宇佐見透第 2790 地区ガバナーは、変革を恐れずに活動すること、時代の変化に併せ、変わりながら続けていく事の大切さを説き、『原点回帰』を合言葉として地区の活動を推進する方針を示されました。

『原点回帰』とは、魅力に満ちた憧れのロータリーの復活を意味しています。私たちは、会員一人一人がロータリーの魅力を語れる『原点』をロータリーの歴史から学び、今私たちができることを考え、実践し、ロータリーの未来を求めて行きたいと思ひます。

これから、会長として偉大な先輩方が切り拓かれた道を歩むことになりました。平成 19 年 7 月に、前会員であった父から引き継ぐ形で入会させていただいた時、宮原信道会長の前でロータリーの歴史に恥じないロータリアンとして行動することをお誓いしました。

東金ロータリークラブは年齢層では 50 代から 80 代の世代の会員が、奉仕の理想に向かって集っております。輝かしい歴史に恥じぬよう、誠心誠意会務の遂行にあたらせていただきます。

何とぞ、皆さま方のご協力とご指導をお願いいたします。

職業分類：高等学校

学校法人高橋学園千葉学芸高等学校理事長・校長

ロータリー歴

入会 2007 年 7 月 3 日

役職 2012～2013 年度 幹事

認証 ポールハリスフェロー（2009）

ベネファクター（2011）



ク ラ ブ 資 料

東金ロータリークラブ

地 区	国際ロータリー第 2790 地区 第 6 分区
ク ラ ブ I D	15067
創 立	1959 年（昭和 34 年） 9 月 15 日
R I 承 認	1959 年（昭和 34 年） 10 月 17 日
認 証 伏 伝 達 式	1960 年（昭和 35 年） 3 月 26 日
スポンサークラブ	茂原ロータリークラブ
事 務 所	東金商工会議所 〒283-0068 千葉県東金市東岩崎 1 番地 5 電 話 0475-52-1101(代) F A X 0475-52-1105 (PC 送信用 0475-55-5766) E m a i l info@togane-rc.jp ホームページ http://www.togane-rc.jp/
例 会 場	東金商工会議所 〒283-0068 千葉県東金市東岩崎 1 番地 5 電話 0475-52-1101 (代)
例 会 日	毎週火曜日 12 時 30 分～
会 員	会員総数 21 名 2014 年（平成 26 年）7 月 1 日現在 正 会 員 21 名（うち 女性 1 名） 年 令 50 歳 ～ 59 歳 3 名 14% A 最 年 少 53 歳 60 歳 ～ 69 歳 8 名 38% B 最 年 長 87 歳 70 歳 ～ 79 歳 8 名 38% C 平均年令 68 歳 80 歳 ～ 89 歳 2 名 10%
理 事 会	毎月第 1 例会日の例会前に開催する。 会長、理事より議案を整理して上程する。
委 員 会	会員は何れかの委員会に所属し、ロータリー精神の理解を深め、 委員会を随時開催して自主的に活発なる奉仕活動を企画し実践する。
ク ラ ブ 地 域	東金市とその周辺
入 会 金	30,000 円
年 会 費	208,000 円
例会ビジターフィ	2,000 円
年 予 算	5,635,000 円



東金ロータリークラブ 歴代会長・幹事・委員長名簿（1）

年 次	初代	2代	3代	4代	5代	6代	7代	8代	9代	10代
年 度	1959～1960	1960～1961	1961～1962	1962～1963	1963～1964	1964～1965	1965～1966	1966～1967	1967～1968	1968～1969
	昭和 34～35	昭和 35～36	昭和 36～37	昭和 37～38	昭和 38～39	昭和 39～40	昭和 40～41	昭和 41～42	昭和 42～43	昭和 43～44
会 長	能勢 剛	能勢 剛	鈴木峻一	野口菊治	小川一郎	森川 要	土屋治平	小川昇司	中村 斉	滝本義雅
幹 事	川口敏郎	川口敏郎	古川 寛	若木 繁	能勢 潔	小川芳司	小倉仁郎	中村紀久治	安井正達	石野 仁
会 計	糸日谷寿	糸日谷寿	糸日谷寿	横田正男	横田正男	斎藤 侃	斎藤 侃	岩沢喜一	岩沢喜一	岩沢喜一
S A A	小川昇司	小川昇司	佐瀬正雄	小倉仁郎	中村紀久治	小倉 昂	鈴木益三郎	風戸義雄	土屋康郷	野口洋一
クラブ奉仕	鈴木峻一	鈴木峻一	川口敏郎	吉橋 孝	早野尚治	斎藤忠平	小川昇治	滝本義雅	浅井利勇	古川 寛
会員増強	森川 要	小林亮一	能勢 剛	鈴木峻一	野口菊治	小川一郎	森川 要	鈴木峻一	小川一郎	土屋治平
会員選考								小川一郎	内山善治郎	三木光雄
職業分類	斎藤忠平	小林順一	川口裕雄	川口裕雄	古川 寛	小倉仁郎	佐瀬正雄	小川芳司	滝本義雅	能勢 潔
クラブ広報	土屋治平	早野尚治	若木 繁	小川芳司	滝本義雅	中村紀久治	山岸信三	小見川喜太郎	古川 寛	森川寅夫
クラブ会報	高橋源太郎	土屋治平	斎藤忠平	小川昇司	斎藤忠平	高橋源太郎	大高福三	小林亮一	高橋源太郎	荒木正直
雑 誌	遠山貴郎	小川芳司	小田喜市	大高福三	板倉 順	小川昇司	土屋半治郎	安井正達	大高福三	川口幸雄
親睦活動	内山常治郎	石川晏保	高橋源太郎	川口敏郎	佐瀬正雄	古川 寛	小倉 昂	大矢喜一	中村義三郎	小倉仁郎
プログラム	若木 繁	大高福三	大高福三	斎藤忠平	小林順一	早野尚治	古川 寛	能勢 潔	小川芳司	桜井宏年
出 席	能勢 潔	佐瀬正雄	小川一郎	小林順一	高橋源太郎	小田喜市	霞 仲	土屋半治郎	古川玄澄	岩崎高明
ロータリー情報	中村 斉	古川 寛	吉橋 孝	能勢 潔	川口敏郎	滝本義雅	鈴木峻一	早野尚治	小倉仁郎	中村喜久治
職業奉仕	市東星雄	野口菊治	小川芳司	土屋治平	中村 斉	大高福三	小川一郎	中村 斉	能勢 潔	早野尚治
社会奉仕	小川一郎	小川一郎	小林順一	高橋源太郎	小川芳司	土屋治平	中村 斉	小倉 昂	霞 仲	高橋源太郎
新世代奉仕								浅井利勇	大矢喜一	斎藤忠平
インターアクト						土屋治平	板倉 順	高橋源太郎	山岸信三	浅井利勇
国際奉仕	吉橋 孝	吉橋 孝	能勢 孝	小川一郎	吉橋 孝	佐瀬正雄	高橋源太郎	山岸信三	早野尚治	内山善治郎
ロータリー財団										
米山奨学金										
世界社会奉仕										
国際青少年交換										
職業活動表彰										
環境保全										
職業情報										



東金ロータリークラブ 歴代会長・幹事・委員長名簿（2）

年次	11代	12代	13代	14代	15代	16代	17代	18代	19代	20代
年 度	1969~1970 昭和44~45	1970~1971 昭和45~46	1971~1972 昭和46~47	1972~1973 昭和47~48	1973~1974 昭和48~49	1974~1975 昭和49~50	1975~1976 昭和50~51	1976~1977 昭和51~52	1977~1978 昭和52~53	1978~1979 昭和53~54
会 長	能勢 潔	大高福三	古川 寛	早野尚治	小倉仁郎	小川芳司	大矢喜一	内山善治郎	石野 仁	土屋康郷
幹 事	川口幸雄	野口洋一	中田治雄	家徳博邦	稗田博昭	川口順司	並木保太郎	山下益司	小川幸三郎	南部 裕
会 計	岩沢喜一	岩沢喜一	渡辺敬三郎	渡辺敬三郎	渡辺敬三郎	田中 明	田中 明	田中 明	東條宗継	土岐郷平
S A A	南部 裕	中田治雄	岩崎英男	小川幸三郎	山下益司	木村幹彦	佐戸英三郎	大木和夫	伊藤喜三男	佐瀬 久
クラブ奉仕	小川芳司	安井正達	中村紀久治	大矢喜一	荒木正直	山下益司	内山善治郎	石野 仁	土屋康郷	荒木正直
会員増強	中村 斉	佐瀬正雄	能勢 潔	大高福三	早野尚治	小倉仁郎	小川芳司	大矢喜一	内山善治郎	石野 仁
会員選考	小倉仁郎	大矢喜一	安井正達	小川芳司	能勢 潔	小川幸三郎	戸村 秀	荒木正直	高橋美光	川口順司
職業分類	安井正達	中村紀久治	並木保太郎	野口洋一	中田治雄	風戸泰雄	南部 裕	若林博美	高橋利章	大坪成彬
クラブ広報	野口洋一	若林博美	佐瀬和彦	稗田博昭	斎藤信久	常世田清志	石野哲也	大野 輝	道沢 弘	村井襄之
クラブ会報	小倉 昂	霞 仲	板倉 順	木村幹彦	細井金蔵	南部 裕	石野 仁	内山松次	能勢 潔	斎藤信久
雑 誌	大高福三	下野幸雄	小倉 昂	杉田憲治	石野 仁	小川金三郎	安井正達	小川芳司	杉原市郎	伊藤俊夫
親睦活動	早野尚治	南部 裕	井上正民	川口順司	吉野静夫	斎藤信久	杉原市郎	金杉雄幸	大木和夫	堀内省三
プログラム	内山善治郎	並木保太郎	大矢喜一	金杉雄幸	井上正民	高橋利章	若林博美	小川幸三郎	戸村 秀	稗田博昭
出 席	中村紀久治	浅井利勇	栗原顕孝	大坪成彬	並木保太郎	杉原市郎	中田治雄	斎藤信久	杉田憲治	鈴木房次
ロータリー情報	板倉 順	古川 寛	荒木正直	川口幸雄	安井正達	大高福三	井上正民	稗田博昭	並木保太郎	山下益司
職業奉仕	風戸泰雄	荒木正直	下野幸雄	石野 仁	小川幸三郎	杉田憲治	高橋利章	土屋康郷	井上正民	小川金三郎
社会奉仕	古川玄澄	小川芳司	若林博美	井上正民	金杉雄幸	大矢喜一	岩崎英男	家徳博邦	若林博美	杉原市郎
新世代奉仕			早野尚治	中村喜久治	伊藤賢章	斎藤晴勇	荒木正直	木村幹彦	鈴木九一	鈴木九一
インターアクト	古川 寛	小倉仁郎	風戸泰雄	内山善治郎	高橋美光	金杉雄幸	金杉雄幸	伊藤賢章	石橋至生	井上正民
国際奉仕	大矢喜一	川口幸雄	南部 裕	岩崎英男	木村幹彦	伊藤賢章	高橋美光	川口順司	稗田博昭	伊藤賢章
ロータリー財団		斎藤忠平	滝本義雅	中村 斉	古川 寛	荒木正直	能勢 潔	大高福三	小川芳司	内山善治郎
米山奨学金										
世界社会奉仕							家徳博邦	南部 裕	荒木正直	斎藤信久
国際青少年交換							高橋美光	川口幸雄	浅井利勇	金杉雄幸
職業活動表彰										
環境保全										
職業情報										



東金ロータリークラブ 歴代会長・幹事・委員長名簿（3）

年次	21代	22代	23代	24代	25代	26代	27代	28代	29代	30代
年 度	1979～1980	1980～1981	1981～1982	1982～1983	1983～1984	1984～1985	1985～1986	1986～1987	1987～1988	1988～1989
	昭和54～55	昭和55～56	昭和56～57	昭和57～58	昭和58～59	昭和59～60	昭和60～61	昭和61～62	昭和62～63	昭和63～元
会 長	荒木正直	並木保太郎	南部 裕	井上正民	川口順司	稗田博昭	小川幸三郎	若林博美	金杉雄幸	高橋美光
幹 事	若林博美	杉原市郎	小川計司	金杉雄幸	高橋美光	小林善喜	西川泰雄	岩澤和夫	杉田憲治	辻村良輔
会 計	小林健男	江沢晴夫	江沢晴夫	江沢晴夫	江沢 古山	古山秀夫	古山秀夫	嘉須利俊夫	嘉須利俊夫	河野真吾
S A A	小川幸三郎	錦織伸正	小林善喜	西村隆史	辻村良輔	鹿間豊治	安藤昇一	鈴木房次	小林清益	秋葉芳秀
クラブ奉仕	並木保太郎	南部 裕	井上正民	川口順司	稗田博昭	小川幸三郎	若林博美	金杉雄幸	高橋美光	大坪成彬
会員増強	土屋康郷	風戸泰雄	古川 寛	滝本義雅	荒木正直	小倉仁郎	南部 裕	稗田博昭	荒木正直	川口順司
会員選考	石野 仁	伊藤賢章	西川泰雄	菅原 実	土屋康郷	若林博美	金杉雄幸	小林善喜	高山友二	小林清益
職業分類	片岡俊夫	稗田博昭	川口順司	若林博美	斎藤信久	能勢 潔	荒木正直	土屋康郷	井上正民	小川幸三郎
クラブ広報	鈴木房次	菅原 実	布留川茂一	高山友二	宮田 勉	石坂彰一	細谷正男	斎藤英行	風戸美喜雄	細谷英三郎
クラブ会報	小川金三郎	稗田正一	杉田憲治	大坪成彬	小川芳司	石野 仁	山本忠司	猪野 章	山下益司	細谷英三郎
雑 誌	秋山 正	岩澤和夫	斎藤信久	伊藤賢章	内山善治郎	斎藤英行	高山友二	遠山和秀	大塚宏三	中田正治
親睦活動	井上正民	金杉雄幸	山口友彦	今関 仁	小林善喜	西川泰雄	鹿間豊治	安藤昇一	細谷英三郎	南部 裕
プログラム	山下益司	小川計司	鈴木房次	岩澤和夫	高山友二	桜井忠良	今井利雄	小林清益	杉原市郎	細谷正男
出 席	山口友彦	今関 仁	錦織伸正	川島伸也	西村 今関	岩澤和夫	山下益司	原 進	中田正治	並木保太郎
ロータリー情報	南部 裕	小川幸三郎	若林博美	杉原市郎	古川 寛	金杉雄幸	小川計司	高橋美光	小林善喜	岩澤和夫
職業奉仕	戸村 秀	高橋美光	荒木正直	西川泰雄	菅原 実	山口友彦	鈴木房次	鹿間豊治	細谷正男	安藤昇一
社会奉仕	大坪成彬	鈴木房次	小川幸三郎	杉田憲治	山下益司	高山友二	辻村良輔	小川計司	菅原 実	今関 仁
新世代奉仕	杉田憲治	山本忠司	大高和郎	日浦利明	小川幸三郎	日浦利明	岩澤和夫	辻村良輔	斎藤英行	小林善喜
インターアクト	杉原市郎	大高和郎	山下益司	山下益司	小川計司	原 進	小林清益	並木保太郎	川口順司	鈴木房次
国際奉仕	佐瀬 久	片岡俊夫	金杉雄幸	山本忠司	大坪成彬	小川計司	日浦利明	今井利雄	椎名千収	古川 尚
ロータリー財団	小川芳司	石野 仁	土屋康郷	荒木正直	並木保太郎	南部 裕	井上正民	川口順司	小川幸三郎	若林博美
米山奨学金					井上正民	川口順司	古川 寛	石野 仁	稗田博昭	小川計司
世界社会奉仕	川口順司	井上正民	堀内省三	高橋美光	南部 裕	杉原市郎	片岡俊夫	椎名千収	鈴木房次	高山友二
国際青少年交換	高橋美光	佐瀬 久	片岡俊夫	小林善喜	西川泰雄	辻村良輔	川口幸雄	山本忠司	安藤昇一	山岡充美
職業活動表彰										
環境保全										
職業情報										



東金ロータリークラブ 歴代会長・幹事・委員長名簿（4）

年次	31代	32代	33代	34代	35代	36代	37代	38代	39代	40代
年 度	1989~1990 平成元~2	1990~1991 平成2~3	1991~1992 平成3~4	1992~1993 平成4~5	1993~1994 平成5~6	1994~1995 平成6~7	1995~1996 平成7~8	1996~1997 平成8~9	1997~1998 平成9~10	1998~1999 平成10~11
会 長	大坪成彬	杉原市郎	小川計司	今井利雄	杉田憲治	小林善喜	飯田久衛	岩澤和夫	辻村良輔	山本忠司
幹 事	今井利雄	山本忠司	小林清益	飯田久衛	古川 尚	赤松源之助	安藤昇一	三宅英雄	三枝清一	古川秀夫
会 計	河野真吾	堀江眞平	堀江眞平	稲葉輝実	内野 明	内野 明	吉井利夫	吉井利夫	鵜野良雄	鵜野良雄
S A A	椎名千収	岸本雅邦	早坂吉朗	中村秀朗	古川秀夫	櫻井 衛	並木孝治	古川典夫	安達厚見	前嶋康夫
クラブ奉仕	杉原市郎	小川計司	今井利雄	杉田憲治	小林義善	飯田久衛	岩澤和夫	山本忠司	小林清益	高山友二
会員増強	古川 寛	南部 裕	金杉雄幸	土屋康郷	小川幸三郎	大坪成彬	小川幸三郎	若林博美	金杉雄幸	小川計司
会員選考	川口順司	土屋康郷	大坪成彬	稗田博昭	細谷正男	岸本雅邦	辻村良輔	高橋美光	細谷正男	今井利雄
職業分類	稗田博昭	金杉雄幸	高橋美光	大坪成彬	杉原市郎	小川計司	今井利雄	杉田憲治	小林善喜	飯田久衛
クラブ広報	山岡充美	中田正治	高山友二	秋葉芳秀	小杉秀政	三枝清一	早坂吉朗	丸山善紹	土井信夫	細谷正男
クラブ会報	細谷正男	風戸美喜雄	岩澤和夫	斎藤英行	遠山和秀	土屋恵司	秋葉芳秀	小杉秀政	井合雅美	金杉雄幸
雑 誌	秋葉芳秀	小杉秀政	山岡充美	遠山和秀	土屋恵司	井上正民	高橋美光	安藤正義	早坂吉朗	若林博美
親睦活動	土屋康郷	高橋美光	古川 尚	金杉雄幸	早坂吉朗	古川秀夫	猪野 章	今井利雄	並木孝治	小林善喜
プログラム	小林善喜	安藤昇一	細谷英三郎	古川 尚	大坪成彬	菅原 実	山岡充美	三枝清一	丸山善紹	塚田 洋
出 席	小林清益	中村秀朗	山下益司	風戸美喜雄	鹿間豊治	三宅英雄	遠山和秀	古川秀夫	秋葉芳秀	古川典夫
ロータリー情報	岩澤和夫	杉田憲治	辻村良輔	山本忠司	小林清益	山本忠司	小林清益	古川 尚	安藤昇一	三宅英雄
職業奉仕	小川幸三郎	家徳博邦	小林善喜	岸本雅邦	細谷英三郎	辻村良輔	中田正治	櫻井 衛	猪野 章	山岡充美
社会奉仕	高山友二	飯田久衛	杉田憲治	山岡充美	安藤正義	井合雅美	三宅英雄	並木孝治	古川秀夫	並木孝治
新世代奉仕	飯田久衛	椎名千収	秋葉芳秀	安藤昇一	岩澤和夫	秋葉芳秀	小杉秀政	山岡充美	中田正治	櫻井 衛
インターアクト	小川計司	斎藤英行	小杉秀政	細谷英三郎	菅原 実	安藤正義	古川典夫	早坂吉朗	櫻井 衛	安達厚見
国際奉仕	細谷英三郎	秋葉芳秀	家徳博邦	猪野 章	三宅英雄	安藤昇一	三枝清一	井合雅美	菅原 実	早坂吉朗
ロータリー財団	石野 仁	井上正民	稗田博昭	石野 仁	若林博美	細谷英三郎	川口順司	金杉雄幸	小川計司	杉田憲治
米山奨学金	古川 尚	内山善治郎	小川幸三郎	並木保太郎	高橋美光	田波潤一郎	金杉雄幸	小林清益	杉田憲治	岩澤和夫
世界社会奉仕	若林博美	遠山和秀	三宅英雄	鹿間豊治	山下益司	岩澤和夫	岸本雅邦	中田正治	川口順司	肥田益次
国際青年交換	猪野 章	安藤正義	菅原 実	井上正民	高山友二	片岡俊夫	井合雅美	中村秀朗	古川典夫	小林清益
職業活動表彰					三宅英雄	古川 寛	細谷正男	中村秀朗	風戸美喜雄	岸本雅邦
環境保全					辻村良輔	田波潤一郎	若林博美	小川計司	斎藤英行	風戸美喜雄
職業情報								細谷正男	安達厚見	古川 尚



東金ロータリークラブ 歴代会長・幹事・委員長名簿（5）

年次	41代	42代	43代	44代	45代	46代	→
年 度	1999～2000 平成 11～12	2000～2001 平成 12～13	2001～2002 平成 13～14	2002～2003 平成 14～15	2003～2004 平成 15～16	2004～2005 平成 16～17	
会 長	小林 清 益	高山 友 二	安 藤 昇 一	三 宅 英 雄	並 木 孝 治	安 藤 正 義	
幹 事	菅 原 実	安 藤 正 義	並 木 孝 治	秋 葉 芳 秀	神 定 一 雄	宮 原 信 道	
会 計	吉 田 陽 二	吉 田 陽 二	若 菜 進 一	若 菜 進 一	板 倉 賢 治	神 定 一 雄	
S A A	国塚周一郎	山下 清 人	前 嶋 武 治	長 尾 邦 俊	小 安 輝 幸	市東弥寿雄	
クラブ奉仕	安 藤 昇 一	三 宅 英 雄	古 川 秀 夫	猪 野 章	菅 原 実	秋 葉 芳 秀	
会員増強	高 橋 美 光	稗 田 博 昭	山 本 忠 司	高 山 友 二	高 橋 美 光	小 林 清 益	会員増強
会員選考	小川幸三郎	石 野 仁	金 杉 雄 幸	小川幸三郎	山 本 忠 司	三 宅 英 雄	
職業分類	岩澤和夫	辻 村 良 輔	山 本 忠 司	高 山 友 二			
クラブ広報	飯 田 久 衛	井 合 雅 美	山 下 清 人	小 安 輝 幸	秋 葉 芳 秀	平 間 陸 生	クラブ 広 報
クラブ会報	川 口 順 司	山 岡 充 美	山 岡 充 美	山 本 忠 司			
雑 誌	小 川 計 司	小 杉 秀 政	山 岡 充 美	山 本 忠 司	小 林 善 喜	金 杉 雄 幸	
親睦活動	辻 村 良 輔	古 川 典 夫	古 川 典 夫	金 杉 雄 幸	鈴 木 康 道	岸 本 雅 邦	
プログラム	早 坂 吉 朗	岸 本 雅 邦	小 林 清 益	小 林 清 益	鈴 木 英 明	高 橋 美 光	クラブ 管理運営
出 席	小 杉 秀 政	小 林 善 喜	斎 藤 栄 治	山 下 清 人	山 下 清 人	小 川 幸 三 郎	
ロータリー情報	今 井 利 雄	飯 田 久 衛	菅 原 実	岸 本 雅 邦	小 川 幸 三 郎	鈴 木 英 明	
職業奉仕	並 木 孝 治	秋 葉 芳 秀	高 橋 美 光	今 井 利 雄	小 林 一 男	豊 福 豊 次	
社会奉仕	前 嶋 康 夫	金 杉 雄 幸	小 林 一 男	高 橋 美 光	長 尾 邦 俊	鈴 木 康 道	
新世代奉仕	中 村 秀 朗	小 林 清 益	秋 葉 芳 秀	神 定 一 雄	前 嶋 武 治	長 尾 邦 俊	
インターアクト	細 谷 正 男	中 村 秀 朗	神 定 一 雄	前 嶋 武 治	並 木 英 雄	成 川 光 男	
国際奉仕	小 林 善 喜	高 橋 美 光	今 井 利 雄	井 合 雅 美	小 林 清 益	前 嶋 武 治	
ロータリー財団	三 宅 英 雄	今 井 利 雄	小 林 善 喜	安 藤 正 義	安 藤 正 義	並 木 英 雄	
米山奨学金	秋 葉 芳 秀	中 田 正 治	小 川 幸 三 郎	小 林 一 男	安 藤 昇 一	小 林 善 喜	
世界社会奉仕	猪 野 章	小 川 幸 三 郎	井 合 雅 美	小 林 善 喜	岸 本 雅 邦	山 本 忠 司	
国際青少年交換	塚 田 洋	杉 田 憲 治					— — —
職業活動表彰	中 田 正 治						— — —
環境保全	川 口 順 司						— — —
職業情報	丸 山 善 紹						— — —



東金ロータリークラブ 歴代会長・幹事・委員長名簿（6）

年 次	47代	48代	49代	50代	51代	52代	53代
年 度	2005～2006	2006～2007	2007～2008	2008～2009	2009～2010	2010～2011	2011～2012
	平成 17～18	平成 18～19	平成 19～20	平成 20～21	平成 21～22	平成 22～23	平成 23～24
会 長	菅 原 實	秋 葉 芳 秀	宮 原 信 道	神 定 一 雄	豊 福 豊 次	小 林 信 雄	古 川 秀 夫
幹 事	豊 福 豊 次	長 尾 邦 俊	鈴 木 康 道	市 東 弥 寿 雄	野 口 隆 利	市 東 弥 寿 雄	岡 本 秀 男
会 計	神 定 一 雄	安 藤 正 義	安 藤 正 義	長 尾 邦 俊	秋 葉 芳 秀	秋 葉 芳 秀	秋 葉 芳 秀
S A A	井 上 五 男	成 川 光 男	戸 村 秀 次	村 誠	高 橋 邦 夫	高 山 友 二	小 高 徹
クラブ奉仕	宮 原 信 道	神 定 一 雄	豊 福 豊 次	小 林 信 雄	古 川 秀 夫	鈴 木 康 道	市 東 弥 寿 雄
会 員 増 強	安 藤 昇 一	並 木 孝 治	美 山 誠	並 木 孝 治	山 本 忠 司	安 藤 正 義	三 宅 英 雄
クラブ広報	高 橋 美 光	山 本 忠 司	戸 村 秀 次	高 橋 邦 夫	平 間 陸 生	豊 福 豊 治	小 高 徹
親 睦 活 動	市 東 弥 寿 雄	井 上 五 男	小 林 善 喜	美 山 誠	安 藤 昇 一	小 高 徹	中 村 隆 則
クラブ管理運営	金 杉 雄 幸	平 間 陸 生	市 東 弥 寿 雄	長 尾 邦 俊	小 林 清 益	高 橋 邦 夫	秋 葉 芳 秀
職 業 奉 仕	成 川 光 男	鈴 木 康 道	井 上 五 男	野 口 隆 利	並 木 孝 治	安 藤 昇 一	平 間 陸 生
社 会 奉 仕	平 間 陸 生	小 林 信 雄	長 尾 邦 俊	井 上 五 男	成 川 光 男	並 木 孝 治	高 山 友 二
新世代奉仕	小 林 信 雄	村 誠	成 川 光 男	戸 村 秀 次	市 東 弥 寿 雄	小 久 保 良 行	小 久 保 良 行
インターアクト	長 尾 邦 俊	野 口 隆 利	野 口 隆 利	金 杉 雄 幸	美 山 誠	村 誠	高 橋 邦 夫
国 際 奉 仕	鈴 木 康 道	高 山 友 二	小 林 信 雄	成 川 光 男	菅 原 實	長 尾 邦 俊	安 藤 昇 一
ロータリー財団	小 林 清 益	小 林 清 益	平 間 陸 生	秋 葉 芳 秀	高 山 友 二	山 本 忠 司	並 木 孝 治
米山奨学会	並 木 孝 治	金 杉 雄 幸	菅 原 實	平 間 陸 生	鈴 木 康 道	三 宅 英 雄	小 林 信 雄



東金ロータリークラブ 歴代会長・幹事・委員長名簿（7）

年次	54代		55代	56代			
年 度	2013～2014		2013～2014	2014～2015			
	平成24～25		平成25～26	平成26～27			
会 長	鈴木康道	会 長	岡本秀男	高橋邦夫			
副 会 長	長尾邦俊	副 会 長	安藤昇一	平間陸生			
幹 事	高橋邦夫	幹 事	吹野友雄	小久保良行			
会 計	秋葉芳秀	会 計	秋葉芳秀	秋葉芳秀			
S A A	吹野友雄	S A A	並木孝治	野口雅子			
クラブ奉仕	古川秀夫	クラブ奉仕	古川秀夫	古川秀夫			
会員増強	中村隆則	会員増強	中村隆則	中村隆則			
クラブ広報	平間陸生	広 報	高橋 正	岡本秀男			
親睦活動	吹野友雄	親睦活動	野口雅子	長尾邦俊			
クラブ管理運営	岡本秀男	管理運営	鈴木康道	並木孝治			
職業奉仕	小高 徹	職業奉仕	平間陸生	菅原 實			
社会奉仕	高山友二	社会奉仕	小久保良行	原島和雄			
新世代奉仕	小久保良行	青少年奉仕	渡邊直樹	渡邊直樹			
インターアクト	吹野友雄	（ 終 結 ）					
国際奉仕	安藤昇一	国際奉仕	塚瀬一夫	塚瀬一夫			
ロータリー財団	並木孝治	ロータリー財団	並木孝治	安藤正義			
米山奨学会	小久保良行	米山奨学会	小林信雄	小林信雄			
クラブ研修	古川秀夫	クラブ研修	古川秀夫	古川秀夫			



国際ロータリー第 2790 地区 第 6 分区 **東金ロータリークラブ**
2013～14 年度 役員・理事・委員会構成表

役 員				理 事 会			
会 長	高 橋 邦 夫	会 長	高 橋 邦 夫	会 長	高 橋 邦 夫	会 長	高 橋 邦 夫
会長エレクト	鈴 木 康 道	会長エレクト	鈴 木 康 道	会長エレクト	鈴 木 康 道	会長エレクト	鈴 木 康 道
副 会 長	平 間 陸 生	副 会 長	平 間 陸 生	副 会 長	平 間 陸 生	副 会 長	平 間 陸 生
幹 事	小久保 良 行	幹 事	小久保 良 行	幹 事	小久保 良 行	幹 事	小久保 良 行
会 計	秋 葉 芳 秀	会 計	秋 葉 芳 秀	会 計	秋 葉 芳 秀	会 計	秋 葉 芳 秀
S・A・A	野 口 雅 子	直 前 会 長	岡 本 秀 男	S・A・A	野 口 雅 子	直 前 会 長	岡 本 秀 男
副 幹 事	並 木 孝 治	理 事	菅 原 實 治	副 幹 事	並 木 孝 治	理 事	菅 原 實 治
副 S・A・A	原 島 和 雄		並 木 孝 治	副 S・A・A	原 島 和 雄		並 木 孝 治
			古 川 秀 夫				古 川 秀 夫
			原 島 和 雄				原 島 和 雄
			塚 瀬 一 夫				塚 瀬 一 夫

委 員 会	委 員 長	担当委員長	委 員
クラブ奉仕 会員増強 広報 親睦活動	古川 秀夫	中村 隆則 岡本 秀男 長尾 邦俊	大坪 成彬 安藤 昇一 小林 信雄 渡邊 直樹 原島 和雄 渋谷 章男 吹野 友雄 岡本 秀男
管理運営 クラブ研修		並木 孝治 古川 秀夫	菅原 實 並木 孝治 平間 陸生 並木 孝治 秋葉 芳秀 野口 雅子 安藤 昇一
職 業 奉 仕	菅原 實		安藤 正義 平間 陸生 中村 隆則
社 会 奉 仕 青少年奉仕	原島 和雄	渡邊 直樹	高山 友二 長尾 邦俊 塚瀬 一夫 吹野 友雄
国 際 奉 仕 ロータリー財団 米山奨学会	塚瀬 一夫	安藤 正義 小林 信雄	安藤 昇一 並木 孝治 菅原 實 高山 友二
事 務 局			土濃塚雅代 鈴木 君江

担当委員長は各奉仕委員会委員を兼ねる。



東金ロータリークラブ 例会・行事予定表
2014～2015年（平成26年7月～平成27年6月）

年	特別月間	月 日	例会日と休会日並びに諸行事	特 別 行 事
2014年	向識上字月率間	7月	1第2652回 新旧会長・幹事引継、理事会、誕生結婚祝 8第2653回 活動計画・クラブ研修 15第2654回 活動計画・クラブ研修 22第2655回 移動例会 29第2656回 移動例会	・ 分区分会長幹事会（8日東金ビュー）
	月間会員増強	8月	5第2657回 理事会・誕生結婚祝 12休会 夏期休会 19第2658回 26第2659回	・ やっさ祭り奉仕（23日）
	月間青少年奉仕	9月	2第2660回 理事会・誕生結婚祝 9第2661回 16第2662回 創立記念例会（55周年） 23秋分の日 30第2663回	・ 移動例会(新千葉カントリー)/16日 ガバナー補佐公式訪問/16日
	月間職業奉仕	10月	7第2664回 振替休会（G公式訪問） 14第2665回 理事会・誕生結婚祝 21第2666回 28第2667回	・ 2日（木）ガバナー公式訪問 （ビューRC合同） ・ 地区大会記念ゴルフ大会（6日）
	財団月間	11月	4第2668回 理事会・誕生結婚祝 11第2669回 18第2670回 25第2671回	
	家族月間	12月	2第2672回 理事会・誕生結婚祝、クラブ総会 9第2673回 振替休会（ロータリーデー） 16第2674回 23休会 天皇誕生日 30休会 年末	・ 2日 総会 ・ 13日（土）ロータリーデー行事 「国際交流パーティ」
	理解推進月	1月	6休会 年始 13第2675回 理事会・新年合同例会 20第2676回 第6分区IM 27第2677回	・ 1月13日（火）合同例会 ホスト：東金RC ・ 1月20日（火）IM（ヴィラそとほう）
	解世界月間	2月	3第2678回 理事会・誕生結婚祝 10第2679回 17第2680回 振替休会（地区大会） 24第2681回	22日（日）地区大会（APA 幕張）
	週間世界クラブ活動	3月	3休会（定款休会） 10第2682回 理事会・誕生結婚祝、クラブ協議会 17第2683回 24第2684回 31休会（定款休会）	クラブ協議会（次年度分担）
	ランティ月間	4月	7第2685回 東金・成田空港南合同移動例会 14第2686回 理事会・誕生結婚祝 21第2687回 28第2688回	・ 7日（火）合同例会（八鶴亭） ホスト：東金RC
		5月	5こどもの日 12第2689回 理事会・誕生結婚祝 19第2690回 26第2691回	
	親睦活動月間	6月	2第2692回 理事会・誕生結婚祝 9第2693回 16第2694回 委員会報告 23第2695回 委員会報告 30第2696回 新旧役員交代 移動例会	・ 新旧役員交代



職 業 分 類 表

2014年7月1日現在

職業分類数・・・94.

充填職業分類・・・19

未充填職業分類・・・75.

部 門	分 類	会 員 名	部 門	分 類	会 員 名
農林畜産	1 農 業		金融	48 銀行	渋谷 章男
	2 果樹園芸業			49 信用金庫	
	3 造園業	渡邊 直樹		50 信用組合	
	4 畜産業			51 証券	
	5 孵卵業			52 損害保険	
	6 飼料・肥料		保険	53 生命保険	
	7 林業			54 保険代理業	並木 孝治
水産	8 水産業				
	9 水産加工業		不動産	55 不動産業	原島 和雄
食料	10 食品製造業			56 土地開発	
	11 食品加工業			57 アパート経営	
	12 飲料製造業		化学工業	58 化学工業	
	13 飲料販売業			59 ガス事業	
建設	14 建設設計業			60 石油事業	安藤 昇一
	15 地質調査			61 防災設備	
	16 建築業	野口 雅子	運輸・車両	62 運送業	古川 秀夫
	17 鉄鋼業			63 タクシー業	
	18 建築加工業			64 バス事業	
	19 建築資材			65 物流業務	中村 隆則
機械・電気	20 機械工業			66 宅配運送業	
	21 機械設備			67 車両販売	
	22 電気工事			68 車両修理	
	23 電気機器		スポーツ	69 スポーツ施設	
通信	24 通信業			70 ゴルフ場	大坪 成彬
	25 通信設備			71 レクリエーション施設	
工芸	26 美術工芸	菅原 實	ホテル・レストラン	72 旅館	
	27 インテリア	岡本 秀男		73 ホテル	
	28 宝飾品			74 レストラン	
衣料品	29 衣料品製造			75 和風料理店	
	30 衣料品販売			76 中華料理店	
商品販売	31 商品専門店			77 喫茶店	
	32 スーパーマーケット		医療	78 病院	
	33 ホームセンタ			79 療養施設	平間 陸生
	34 コンビニエンスストア			80 医師	
ビジネス・サービス	35 理容美容			81 医療技師	
	36 クリーニング			82 医療機器	
	37 写真			83 介護用品	
	38 印刷			84 介護施設	
	39 新聞取次		医薬品	85 薬局	
	40 儀式場	鈴木 康道		86 薬剤師	
	41 ビル管理	塚瀬 一夫	団体	87 文化団体	
	42 公認会計士			88 商工会議所	吹野 友雄
コンサルタン	43 税理士	高山 友二 安藤 正義 秋葉 芳秀		89 協同組合	
	44 経営相談		教育	90 大学	小林 信雄 小久保良行
	45 社会労務士			91 高等学校	高橋 邦夫
	46 弁護士			92 幼児教育	
	47 司法書士			93 技能教育	
			宗教	94 宗教	長尾 邦俊



東金ロータリークラブ会員名簿

2014年7月1日 現在

氏 名	会社名	役職			
大坪 成彬	(株)新千葉カントリー倶楽部	会長			
菅原 實	菅原工芸硝子(株)	代表取締役			
高山 友二	高山会計事務所	所長			
安藤 昇一	安藤興業(株)	社長			
秋葉 芳秀	秋葉税理士事務所	所長			
安藤 正義	安藤正義税理士事務所	所長			
並木 孝治	東金保険事務所	所長			
長尾 邦俊	即髓寺	住職			
平間 陸生	社会福祉法人清規会 特別養護老人ホーム芙蓉荘	施設長			
鈴木 康道	(株)松半	会長			



氏 名	会社名	役職			
小林 信雄	拓殖大学	名誉教授			
小久保良行	学校法人城西国際大学	事務局長			
高橋 邦夫	学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校	理事長 ・校長			
古川 秀夫	古川運送(株)	代表取締役			
岡本 秀男	(株)アートブレイン	代表取締役			
中村 隆則	南総通運(株)	代表取締役			
吹野 友雄	東金商工会議所	専務			
野口 雅子	野口建材(株)	取締役			
原島 和雄	(株)住センター21	代表取締役			
塚瀬 一夫	(有)京葉産業	取締役			



氏 名	会社名	役職			
渡邊 直樹	ナオキ緑化	代表			
渋谷 章男	(株)千葉銀行 東金支店	支店長			
土濃塚雅代	東金ロータリークラブ	事務局			
鈴木 君江	東金ロータリークラブ	事務局			

入 会 ・ 退 会 者 名

入 会 者

会 員 渋谷 章男 平成 26 年 08 月 19 日

事務局 土濃塚雅代 平成 26 年 07 月 01 日

退 会 者

会 員 高橋 正 平成 26 年 06 月 30 日

事務局 梅室 政司 平成 25 年 12 月 31 日

事務局 川戸 信彦 平成 26 年 06 月 30 日



年齢順一覧表

平成 26 年 7 月 1 日現在

NO	氏名	年齢	生年月日	入会年月日	RC 暦
1	高山 友二	87	1926 年 10 月 11 日	1980 年 09 月 16 日	33 年
2	小林 信雄	80	1934 年 06 月 12 日	2003 年 01 月 07 日	10 年
3	大坪 成彬	79	1935 年 03 月 26 日	1970 年 07 月 06 日	44 年
4	安藤 昇一	78	1936 年 02 月 23 日	1983 年 10 月 18 日	30 年
5	平間 陸生	75	1939 年 08 月 17 日	2002 年 07 月 01 日	12 年
6	中村 隆則	74	1939 年 10 月 29 日	2009 年 07 月 03 日	5 年
7	菅原 實	74	1940 年 01 月 17 日	1978 年 11 月 07 日	35 年
8	鈴木 康道	72	1941 年 12 月 13 日	2002 年 07 月 01 日	12 年
9	安藤 正義	72	1941 年 12 月 18 日	1989 年 01 月 10 日	25 年
10	古川 秀夫	70	1943 年 11 月 23 日	2008 年 07 月 01 日	17 年
11	岡本 秀男	67	1947 年 06 月 01 日	2008 年 10 月 07 日	5 年
12	原島 和雄	66	1948 年 06 月 17 日	2012 年 07 月 03 日	2 年
13	秋葉 芳秀	65	1949 年 07 月 08 日	1985 年 04 月 02 日	29 年
14	吹野 友雄	64	1949 年 10 月 25 日	2010 年 12 月 31 日	3 年
15	塚瀬 一夫	64	1950 年 07 月 02 日	2012 年 07 月 03 日	2 年
16	渡邊 直樹	63	1950 年 12 月 27 日	2012 年 07 月 03 日	2 年
17	並木 孝治	63	1951 年 08 月 05 日	1992 年 03 月 31 日	22 年
18	長尾 邦俊	62	1951 年 09 月 21 日	2000 年 10 月 03 日	13 年
19	野口 雅子	58	1955 年 10 月 12 日	2012 年 01 月 12 日	2 年
20	小久保良行	56	1957 年 12 月 22 日	2007 年 07 月 03 日	7 年
21	高橋 邦夫	53	1960 年 11 月 04 日	2007 年 07 月 03 日	7 年
22	渋谷 章男	50	1964 年 02 月 18 日	2014 年 08 月 19 日	0 年
23					
24					
25					
26					

平均年齢=67.82 歳



東金ロータリークラブ 誕生・結婚記念日

2014年7月1日現在

誕生記念日			結婚記念日			誕生記念日			結婚記念日		
7月	2日 8日	塚瀬 一夫 秋葉 芳秀	7月			1月	17日	菅原 實	1月	17日 18日 20日	古川 秀夫 塚瀬 一夫 渡邊 直樹
8月	5日 17日	並木 孝治 平間 陸生	8月			2月	18日	渋谷 章男	2月	2日	渋谷 章男
9月	21日	長尾 邦俊	9月				23日	安藤 昇一		4日	小林 信雄
10月	11日 12日 25日 29日	高山 友二 野口 雅子 吹野 友雄 中村 隆則	10月	2日 11日	野口 雅子 並木 孝治		25日	事)土濃塚雅代		5日 11日 24日 25日 26日	吹野 友雄 安藤 正義 菅原 實 秋葉 芳秀 原島 和雄
11月	4日 23日	高橋 邦夫 古川 秀夫	11月	3日 3日 6日 27日 27日	事)鈴木 君江 事)土濃塚雅代 高橋 邦夫 大坪 成彬 鈴木 康道	3月	26日	大坪 成彬	3月	3日 9日	平間 陸生 安藤 昇一
12月	13日 18日 22日 27日	鈴木 康道 安藤 正義 小久保良行 渡邊 直樹	12月	6日 10日	高山 友二 岡本 秀男	4月			4月		
						5月	6日	事)鈴木 君江	5月	6日 11日	長尾 邦俊 中村 隆則
						6月	1日 12日 17日	岡本 秀男 小林 信雄 原島 和雄	6月	2日	小久保良行

2014年～2015年 誕生祝品＝焼き菓子 結婚記念日祝品＝菅原工芸硝子



東金ロータリークラブ クラブ・アッセンブリー・プログラム

I 協 議

II 例 会

III クラブ・アッセンブリー

- | | | | |
|------------------|-------|-----------|-------|
| 1. 開会のことば | ．．．．． | 幹 事 | 小久保良行 |
| 2. 会長挨拶 | ．．．．． | 会 長 | 高橋 邦夫 |
| 3. ガバナー挨拶 | ．．．．． | ガバナー | 宇佐見 透 |
| 4. ガバナー補佐挨拶 | ．．．．． | ガバナー補佐 | 諏訪 武士 |
| 5. 会務報告 | ．．．．． | | |
| (1) 会計 | | | 秋葉 芳秀 |
| (2) S・A・A | | | 野口 雅子 |
| (3) クラブ奉仕 委員長 | | | 古川 秀夫 |
| (4) クラブ管理運営 委員長 | | | 並木 孝治 |
| (5) クラブ研修 委員長 | | | 古川 秀夫 |
| (6) クラブ広報 委員長 | | | 岡本 秀男 |
| (7) 親睦活動 委員長 | | | 長尾 邦俊 |
| (8) 会員増強 委員長 | | | 中村 隆則 |
| (9) 職業奉仕 委員長 | | | 菅原 實 |
| (10) 社会奉仕 委員長 | | | 原島 和雄 |
| (11) 青少年奉仕 委員長 | | | 渡邊 直樹 |
| (12) 国際奉仕 委員長 | | | 塚瀬 一夫 |
| (13) ロータリー財団 委員長 | | | 安藤 正義 |
| (14) 米山奨学 委員長 | | | 小林 信雄 |
| 6. ガバナー講評 | ．．．．． | ガバナー | 宇佐見 透 |
| 7. ロータリーソング | ．．．．． | 「手に手つないで」 | |
| 8. 開会のことば | ．．．．． | 幹 事 | 小久保良行 |



東金ロータリークラブ

交換留学生名簿

年 度	会長名	交換学生名	出入国名	
71-72 (昭 46～47)	古川 寛	Maurice G Saint	(Thebarton)	(S.A)
72-73 (昭 47～48)	早野 尚治	安井 千賀子	(Edward Town)	(S.A)
73-74 (昭 48～49)	小倉 仁郎	Adrinne Dortehea Roff	(Glenelg)	(S.A)
		石田 緑	(Wodonga)	(Vic.A)
74-75 (昭 49～50)	小川 芳司	Robert Alan Michael	(Lafayette)	(Indiana U.S.A)
		石井 聡子	(Lafayette)	(Indiana U.S.A)
75-76 (昭 50～51)	大矢 喜一	Kathy A Peterson	(Mt. Vernon)	(Wash. U.S.A)
		金杉 幸太郎	(Quesnel)	(Canada)
		三瀬 摩里	(Burnaby)	(Canada)
76-77 (昭 51～52)	内山 善治郎	Virginia Harris	(Kilda)	(Vic. A)
		佐久間 正一	(Melbourn South)	(Vic. A)
77-78 (昭 52～53)	石野 仁	小川 文乃	(St. Albans)	(Vic. A)
		三瀬 千草	(Maffra)	(Vic. A)
78-79 (昭 53～54)	土屋 康郷	Karen Louise Wigg	(Marraa Wah)	(Tas. A)
		滝山 美恵子	(New Norfolk)	(Tas. A)
79-80 (昭 54～55)	荒木 正直	Kathryn Allison Barrett	(Launceston North)	(Tas. A)
80-81 (昭 55～56)	並木 保太郎	Susan Prichard	(Beech Worth)	(Vic. A)
		山本 佐知子	(Albury North)	(Vic. A)
81-82 (昭 56～57)	南部 裕	Clair Shadbolt	(Dunedin)	(N.Z)
		角田 のり子	(Dunedin South)	(N.Z)
82-83 (昭 57～58)	井上 正民	Kathy Todd	(Timaru South)	(N.Z)
		土屋 敦子	(Timaru North)	(N.Z)
84-85 (昭 59～60)	稗田 博昭	大塚 めぐみ	(Remuera)	(N.Z)
85-86 (昭 60～61)	小川 幸三郎	安藤 純子	(Werribee)	(Vic. A)
86-87 (昭 61～62)	若林 博美	KAREN WALLS	(WERRIBEE)	(Vic. A)
87-88 (昭 62～63)	金杉 雄幸	DAVID JOBE	AUSTRALIA 982	
88-89 (昭 63～平 1)	高橋 美光	MATTHEW ADEM SNELL	AUSTRALIA	
		菅原 裕輔	AUSTRALIA	

東金ロータリークラブ 交換学生

1972 年（昭和47 年）1 月古川寛会長のときに、最初の交換学生としてオーストラリアからモーリス・セイント君が来日した。そして4 月に、安井会員の令嬢安井千賀子さんがオーストラリアに出発した。最初のホストファミリーは浅井利勇先生があたり、順次交換学生を預かる会員の家庭が増え、国際交流の輪が広まった。それから交換学生（長期）は18 年にわたって続き、来日14 名、派遣15 名という立派な業績を残した。



モーリス君壮行会（1972 年 12 月 12 日）



モーリス('71 豪), エディ('73 豪), キャシー('74 米), カレン('78 豪),
スーザン('80 豪), マシュー('88 豪), ディビッド('87 豪), クレア('81 新), ジニー('76 豪)



収支予算書

(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

会長 高橋 邦夫
 幹事 小久保良行
 会計 秋葉 芳秀

(収入の部)

科目	前年度予算	本年度予算	差額	備考
前年度繰越金	606,741	275,054	△ 331,687	前年度繰越金
入会金	90,000	30,000	△ 60,000	1名
年会費	4,992,000	4,680,000	0	208,000×22.5名
ビクターフィー	20,000	20,000	0	10名
R財団特別寄附	100,000	100,000	0	1名
米山奨学会特別寄附	100,000	100,000	0	1名
ニコニコボックス	400,000	400,000		
雑収入	30,000	30,000		
総合計	6,338,741	5,635,054	△ 703,687	

(支出の部)

科目			前年度予算	本年度予算	差額	備考
クラ ブ 分 担 金		R I 等分担金	130,000	130,000	0	人頭分担金、友購読料
		地区関係分担金	550,000	550,000	0	地区負担金
		分区関係分担金	150,000	150,000	0	会長幹事会
		その他登録料等分担金	250,000	200,000	△ 50,000	I M
ラ イ フ 会 議 費		小計	1,080,000	1,030,000		
		理事・役員会議費	30,000	20,000	△ 10,000	会議費
		クラブ協議会費	30,000	20,000	△ 10,000	会議費
		次期役員会議費	30,000	20,000	△ 10,000	会議費
		その他会議費	30,000	20,000	△ 10,000	会議費
運 営 費		小計	120,000	80,000		
		会場費	400,000	400,000	0	東金商工会議所
		食事費	800,000	800,000	0	例会食事等
		諸経費	250,000	250,000	0	賄い費等
費		小計	1,450,000	1,450,000		
		事務委託費	432,000	600,000	168,000	事務局員 1 名
		印刷費	120,000	120,000	0	活動計画書印刷費
		通信費	120,000	110,000	△ 10,000	電話、切手
		慶弔交際費	120,000	110,000	△ 10,000	交際費等
		備品費	150,000	120,000	△ 30,000	トナー等
		旅費交通費	70,000	70,000	0	諸行事バス代等
		雑費	50,000	30,000	△ 20,000	その他
	小計	1,062,000	1,160,000			
合計			3,712,000	3,720,000	8,000	



科目		前年度予算	本年度予算	差額	備考
奉仕活動費	委員会活動費	30,000	20,000	△ 10,000	会議費
	広報委員会	200,000	80,000	△ 120,000	会報、ロータリーの友
	親睦委員会	700,000	700,000	0	移動・合同例会食事等
	結婚誕生祝品	120,000	100,000	△ 20,000	祝い品代
	管理運営委員会	100,000	100,000		R 情報セミナー
	会員増強委員会	100,000	40,000	△ 60,000	会議費
	小計	1,250,000	1,040,000	△ 210,000	
	職業奉仕				
	委員会活動費	50,000	50,000	0	セミナー参加費
	小計	50,000	50,000		
社会奉仕費	委員会活動費	150,000	50,000	△ 100,000	委員会費
	青少年奉仕委員会	150,000	50,000	△ 100,000	会議費
	小計	300,000	100,000	△ 200,000	
国際奉仕	委員会活動費	60,000	50,000	△ 10,000	会議参加費等
	世界社会奉仕	30,000	20,000	△ 10,000	セミナー参加費
	米山奨学会普通寄付	120,000	112,500	△ 7,500	5,000×22.5 名.
	R 財団特別寄附	100,000	100,000	0	1 名
	米山奨学会特別寄附	100,000	100,000	0	1 名
	小計	410,000	382,500	△ 27,500	
合計		2,010,000	1,572,500	△ 437,500	
支出合計		5,722,000	5,292,500	△ 429,500	
別途積立金		100,000	0	△ 100,000	
予備費		516,741	342,554	△ 174,187	
総合計		6,338,741	5,635,054	△ 703,687	



収支決算書

(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

会長 岡本 秀男
 幹事 吹野 友雄
 会計 秋葉 芳秀

(収入の部)

科目	本年度予算	本年度決算	差額	備考
前年度繰越金	606,741	606,741	0	前年度繰越金
入会金	90,000	0	90,000	
年会費	4,992,000	4,576,000	416,000	208,000×22名
ビクターフィー	20,000	12,000	8,000	6名
R財団特別寄附	100,000	100,000	0	1名
米山奨学会特別寄附	100,000	200,000	△ 100,000	2名
ニコニコボックス	400,000	296,823	103,177	
雑収入	30,000	431	29,569	預金利息
義援金		62,000	△ 62,000	東日本大震災、フィリピン台風
総合計	6,338,741	5,853,995	484,746	

(支出の部)

科目	本年度予算	本年度決算	差額	備考
クラ ブ 運 営 費	R I 等分担金	130,000	119,361	10,639 人頭分担金、友購読
	地区関係分担金	550,000	555,830	△ 5,830 地区負担金
	分区関係分担金	150,000	140,000	10,000 会長幹事会、他
	その他登録料等分担金	250,000	180,014	69,986 I M、他 RC 記念式典、
	小計	1,080,000	995,205	84,795
	理事・役員会議費	30,000	0	30,000
	クラブ協議会費	30,000	0	30,000
	次期役員会議費	30,000	14,960	15,040 次期委員会打合せ
	その他会議費	30,000	32,000	△ 2,000
	小計	120,000	46,960	73,040
	会場費	400,000	400,000	0 東金商工会議所
	食事費	800,000	745,917	54,083 例会食事等
	諸経費	250,000	281,020	△ 31,020 賄い費等
	小計	1,450,000	1,426,937	23,063
	事務委託費	432,000	432,000	0 東金商工会議所
	印刷費	120,000	120,000	0 活動計画書印刷費
	通信費	120,000	110,714	9,286 電話、切手
	慶弔交際費	120,000	164,489	△ 44,489 交際費等
	備品費	150,000	102,821	47,179 トナー等
	旅費交通費	70,000	46,474	23,526 諸行事バス代等
	雑費	50,000	21,497	28,503 その他
	小計	1,062,000	997,995	64,005
合計		3,712,000	3,467,097	244,903



科目		本年度予算	本年度決算	差額	備考
奉 仕 活 動 費	委員会活動費	30,000	25,105	4,895	会議費
	クラブ広報委員会	200,000	115,977	84,023	会報等
	親睦委員会	700,000	834,778	△ 134,778	移動・合同例会食事等
	結婚誕生祝品	120,000	131,869	△ 11,869	祝い品代
	クラブ管理運営委員会	100,000	57,750	42,250	R情報セミナー
	会員増強委員会	100,000	0	100,000	会議費
	小計	1,250,000	1,165,479	84,521	
	職業奉仕委員会活動費	50,000	8,000	42,000	セミナー参加費
	小計	50,000	8,000	42,000	
	社会奉仕委員会活動費	150,000	102,210	47,790	寄付、他
	社会奉仕委員会	150,000	42,155	107,845	会議費
	小計	300,000	144,365	155,635	
	国際奉仕委員会活動費	60,000	150,000	△ 90,000	RI 国際大会補助
	世界社会奉仕	30,000	1,500	28,500	セミナー参加費
	米山奨学会普通寄附	120,000	141,000	△ 21,000	5000×22名、その他
	R財団特別寄附	100,000	101,500	△ 1,500	1名
	米山奨学会特別寄附	100,000	200,000	△ 100,000	2名
	小計	410,000	594,000	△ 184,000	
合計		2,010,000	1,911,844	98,156	
支出合計		5,722,000	5,378,941	343,059	
別途積立金		100,000	200,000	△ 100,000	
予備費		516,741	0	516,741	
次年度繰越金			275,054	△ 275,054	
総合計		6,338,741	5,853,995	484,746	



ポールハリスフェロー基金 収支報告書

平成24年7月1日～平成25年6月30日

(収入の部)

(円)

科 目	金 額	適 用
前年度繰越金	404,229	
会員通常負担金	88,000	上期及び下期 4,000円×22人
フェロー・ベネファクター寄付金	100,000	野口雅子 会員(B)
雑収入	78	預金利息
合 計	592,307	

(支出の部)

公益財団・ロータリー日本財団へ送金(通常)	88,000	年次寄付 4,000円×22人
毎年あなたも100ドルを寄付	0	年次寄付 100ドル×0人
公益財団・ロータリー日本財団へ送金(フェロー)	100,000	恒久基金、他
雑費	432	銀行手数料
次年度繰越金	403,875	千葉銀行東金支店 普通 1245103
合 計	592,307	

米山奨学会資金 収支報告書

平成23年7月1日～平成24年6月30日

(収入の部)

(円)

科 目	金 額	適 用
前年度繰越金	140,178	
(財)ロータリー米山奨学会より	980,000	平成25年7月～26年1月入金
(財)ロータリー米山奨学会より	40,000	カウンセラーへのお世話代
会員特別寄付金	200,000	小林信雄、岡本秀男 会員
雑収入	1,550	預金利息
合 計	1,361,728	

(支出の部)

米山奨学生への支払い	1,12,000	140,000×8回 ユン・ハンナ
カウンセラーへの支払	40,000	小林信雄 会員
(財)ロータリー米山奨学会へ送金	200,000	個人寄付分
手数料	957	銀行手数料
次年度繰越金	771	千葉銀行東金支店 普通 3749043
合 計	1,361,728	



公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

①米山功労者 (1回目)

1.	浅井 利勇	会員	1974 年	(昭和 49 年)	8月
2.	滝本 義雄	会員	1984 年	(昭和 59 年)	1月
3.	滝本 桂子	会員	1984 年	(昭和 59 年)	9月
4.	内山善治郎	会員	1987 年	(昭和 62 年)	9月
5.	古川 寛	会員	1988 年	(昭和 63 年)	9月
6.	能勢 潔	会員	1988 年	(昭和 63 年)	9月
7.	小川 芳司	会員	1988 年	(昭和 63 年)	9月
8.	土屋 康郷	会員	1988 年	(昭和 63 年)	9月
9.	南部 裕	会員	1988 年	(昭和 63 年)	9月
10.	川口 順司	会員	1988 年	(昭和 63 年)	9月
11.	稗田 博昭	会員	1988 年	(昭和 63 年)	9月
12.	大坪 成彬	会員	1989 年	(平成 元年)	11月
13.	家徳 博邦	会員	1989 年	(平成 元年)	8月
14.	杉原 市郎	会員	1990 年	(平成 2 年)	8月
15.	内山健次郎	会員	1990 年	(平成 2 年)	8月
16.	高橋 美光	会員	1991 年	(平成 3 年)	11月
17.	若林 博美	会員	1991 年	(平成 3 年)	11月
18.	小川幸三郎	会員	1991 年	(平成 3 年)	11月
19.	並木保太郎	会員	1991 年	(平成 3 年)	11月
20.	小林 善喜	会員	1991 年	(平成 3 年)	11月
21.	小川 計司	会員	1991 年	(平成 3 年)	11月
22.	三宅 英雄	会員	1992 年	(平成 4 年)	2月
23.	猪野 章	会員	1992 年	(平成 4 年)	8月
24.	今井 利雄	会員	1992 年	(平成 4 年)	8月
25.	金杉 雄幸	会員	1992 年	(平成 4 年)	10月
26.	古川 尚	会員	1993 年	(平成 5 年)	10月
27.	飯田 久衛	会員	1995 年	(平成 7 年)	9月
28.	安藤 昇一	会員	1995 年	(平成 7 年)	9月
29.	井上 正民	会員	1995 年	(平成 7 年)	9月
30.	小林 清益	会員	1996 年	(平成 8 年)	9月
31.	小林 一男	会員	1996 年	(平成 8 年)	9月
32.	高山 友二	会員	1996 年	(平成 8 年)	9月
33.	山本 忠司	会員	1996 年	(平成 8 年)	9月
34.	荒木 正直	会員	1996 年	(平成 8 年)	10月
35.	齊藤 英行	会員	1996 年	(平成 8 年)	10月
36.	三枝 清一	会員	1996 年	(平成 8 年)	10月
37.	杉田 憲治	会員	1996 年	(平成 8 年)	10月
38.	山下 益司	会員	1996 年	(平成 8 年)	10月
39.	岩澤 和夫	会員	1996 年	(平成 8 年)	10月
40.	滝本 義雅	会員	1993 年	(平成 5 年)	
41.	小林 信雄	会員	2007 年	(平成 19 年)	6月
42.	平間 陸生	会員	2009 年	(平成 20 年)	6月
43.	並木 孝治	会員	2011 年	(平成 23 年)	4月
44.	秋葉 芳秀	会員	2013 年	(平成 25 年)	6月
45.	岡本 秀男	会員	2014 年	(平成 26 年)	6月

②米山功労者 (マルチプル)

(1)マルチプル米山功労者(第3回目)

1. (該当なし)

(2)マルチプル米山功労者(第4回目)

- | | | | | | |
|----|-------|----|--------|-----------|-----|
| 1. | 金杉 雄幸 | 会員 | 2006 年 | (平成 18 年) | 10月 |
| 2. | 小林 信雄 | 会員 | 2014 年 | (平成 26 年) | 6月 |

(3)マルチプル米山功労者 (第5回目 梅花紋)

- | | | | | | |
|----|-------|----|--------|-----------|-----|
| 1. | 石野 仁 | 会員 | 2000 年 | (平成 12 年) | 9月 |
| 2. | 高山 友二 | 会員 | 2000 年 | (平成 12 年) | 9月 |
| 3. | 鈴木 康道 | 会員 | 2002 年 | (平成 14 年) | 12月 |
| 4. | 安藤 昇一 | 会員 | 2004 年 | (平成 16 年) | 5月 |

③米山功労者 (メジャードナー) 10 回目

1. (該当なし)

④米山ファンドフェロー

- | | | | | | |
|----|-------|----|--------|-----------|-----|
| 1. | 三宅 英雄 | 会員 | 1997 年 | (平成 8 年) | 9月 |
| 2. | 辻村 良輔 | 会員 | 1997 年 | (平成 8 年) | 10月 |
| 3. | 中田 正治 | 会員 | 2000 年 | (平成 12 年) | 9月 |
| 4. | 菅原 實 | 会員 | 2000 年 | (平成 12 年) | 9月 |

※累計 15 万円 (2003 年廃止)

⑤準米山功労者

- | | | | | | |
|----|-------|----|--------|-----------|-----|
| 1. | 秋葉 芳秀 | 会員 | 2002 年 | (平成 14 年) | 12月 |
|----|-------|----|--------|-----------|-----|

※累計 3 万円 (2003 年廃止)

2014 年 7 月 1 日現在

普通寄付金累計額	6,049,910 円
特別寄付金累計額	16,401,950 円
総 計	22,451,860 円



ポールハリスフェロー名簿

ロータリー財団寄付 2014 年（平成 26 年）6 月 30 日

東金ロータリークラブ累計額（216,347.74 ドル）

2014 年 7 月 1 日 現在

ロータリー財団委員長 安藤 正義

受賞年度			氏名	備考
1	1972 年	(昭和 47 年)	浅井 利勇	(故人)
2	〃	〃	滝本 義雄	(故人)
3	1977 年	(昭和 52 年)	金杉 雄幸	(退会)
4	1979 年	(昭和 54 年)	古川 寛	(故人)
5	〃	〃	能勢 潔	(故人)
6	〃	〃	小川 芳司	(退会)
7	〃	〃	中村喜久治	(退会)
8	〃	〃	小倉 仁郎	(退会)
9	1980 年	(昭和 55 年)	滝本 佳子	滝本会員夫人
10	〃	〃	内山善次郎	(退会)
11	〃	〃	風戸 泰雄	(退会)
12	1981 年	(昭和 56 年)	土屋 康郷	(故人)
13	〃	〃	荒木 正直	(退会)
14	〃	〃	石野 仁	(故人)
15	1982 年	(昭和 57 年)	並木保太郎	(退会)
16	〃	〃	南部 裕	(退会)
17	〃	〃	井上 正民	(退会)
18	〃	〃	若林 博美	(退会)
19	1983 年	(昭和 58 年)	杉田 憲治	(退会)
20	〃	〃	大坪 成彬	
21	〃	〃	稗田 博昭	(退会)
22	1984 年	(昭和 59 年)	川口 順司	(退会)
23	〃	〃	小川幸三郎	(退会)
24	〃	〃	山下 益司	(退会)
25	〃	〃	並木 保人	並木会員令孫
26	1985 年	(昭和 60 年)	伊藤 賢章	(故人)
27	〃	〃	杉原 市郎	(故人)
28	〃	〃	高橋 美光	(退会)
29	1986 年	(昭和 61 年)	山本 忠司	
30	〃	〃	堀内 省三	(退会)

受賞年度			氏名	備考
31	〃	〃	山口 友彦	(退会)
32	1987 年	(昭和 62 年)	小川 計司	(退会)
33	〃	〃	菅原 實	
34	〃	〃	岩沢 和夫	(退会)
35	〃	〃	金杉 徳子	金杉会員夫人
36	〃	〃	今関 仁	(退会)
37	〃	〃	西川 泰雄	(退会)
38	〃	〃	小林 善喜	(退会)
39	1988 年	(昭和 63 年)	高山 友二	
40	〃	〃	斉藤 英行	(故人)
41	〃	〃	辻村 良輔	(退会)
42	1989 年	(平成元年)	小杉 秀政	(故人)
43	〃	〃	鹿間 豊治	(退会)
44	〃	〃	古川 尚	(退会)
45	〃	〃	安藤 昇一	
46	〃	〃	小林 清益	(退会)
47	〃	〃	猪野 章	(故人)
48	〃	〃	家徳 博邦	(故人)
49	1990 年	(平成 2 年)	細谷 正男	(退会)
50	〃	〃	今井 利雄	(故人)
51	〃	〃	大塚 宏三	(退会)
52	〃	〃	遠山 和秀	(故人)
53	1990 年	(平成 2 年)	秋葉 芳秀	
54	〃	〃	風戸美喜雄	(故人)
55	〃	〃	細谷英三郎	(退会)
56	〃	〃	山岡 充美	(退会)
57	〃	〃	中田 正治	(退会)
58	1991 年	(平成 3 年)	岸本 雅邦	(退会)
59	〃	〃	早坂 吉朗	(退会)
60	〃	〃	中村 秀朗	(退会)



受賞年度			氏名	備考	受賞年度			氏名	備考
61	〃	〃	飯田 久衛	(退会)	91	2005 年	(平成 17 年)	宮原 信道	(退会)
62	〃	〃	安藤 正義		92	2006 年	(平成 18 年)	山下 清人	(退会)
63	〃	〃	三宅 英雄	(退会)	93	〃	〃	豊福 豊次	(退会)
64	1996 年	(平成 8 年)	土屋 恵司	(退会)	94	〃	〃	鈴木 康道	
65	〃	〃	古川 秀夫		95	〃	〃	平間 陸生	
66	〃	〃	並木 孝治		96	〃	〃	小林 信雄	
67	〃	〃	安達 厚見	(退会)	97	〃	〃	市東弥寿雄	(退会)
68	〃	〃	山本 忠司	(退会)	98	〃	〃	井上 五男	(退会)
69	1997 年	(平成 9 年)	井合 雅美	(退会)	99	〃	〃	成川 光男	(退会)
70	〃	〃	三枝 清一	(退会)	100	〃	〃	戸村 秀次	(退会)
71	〃	〃	櫻井 衛	(退会)	101	〃	〃	野口 隆利	(退会)
72	〃	〃	丸山 善紹	(故人)	102	〃	〃	石原 孝雄	(退会)
73	〃	〃	古川 典夫	(故人)	103	2009 年	(平成 21 年)	小久保良行	
74	〃	〃	大木 豊司	(退会)	104	〃	〃	高橋 邦夫	
75	〃	〃	山下 清人	(退会)	105	2010 年	(平成 22 年)	岡本 秀男	
76	〃	〃	前嶋 康夫	東金ビューロー-創立	106	〃	〃	小高 徹	
77	〃	〃	四宮 敏之	(退会)	107	2012 年	(平成 24 年)	吹野 友雄	
78	〃	〃	若林 裕子	据	108				
79	〃	〃	内山喜代子	据	109				
80	〃	〃	土屋 聡子	据	110				
81	〃	〃	小川萬里子	据	111				
82	〃	〃	能勢うた子	据	112				
83	〃	〃	石野 マサ	据	113				
84	〃	〃	荒木 和子	据	114				
85	〃	〃	浅井 ヒサ	据	115				
86	〃	〃	古川 歌子	据	116				
87	〃	〃	井上 益代	据	117				
88	〃	〃	南部かず子	据	118				
89	2001 年	(平成 13 年)	小林 一男	(退会)	119				
90	〃	〃	前嶋 武治	(退会)	120				

準フェロー

1	岸本 雅邦	会員	2004 年 06 月	500 ドル
2	宮原 信道	会員	〃	500 ドル
3	並木 英雄	会員	〃	500 ドル



マルチプル・ポールハリスフェロー名簿

受賞年度	氏 名	備 考	受賞年度	氏 名	備 考
1 1994 年 (平成 6 年)	古川 寛	マルチプル 1 回目	31 1998 年 (平成 10 年)	南部 裕	マルチプル 5 回目
2 " "	能勢 潔	マルチプル 1 回目	32 " "	安藤 昇一	マルチプル 2 回目
3 " "	小川 芳司	マルチプル 1 回目	33 " "	杉田 憲治	マルチプル 2 回目
4 " "	滝本 義雄	マルチプル 1 回目	34 " "	小林 清益	マルチプル 1 回目
5 " "	内山善次郎	マルチプル 1 回目	35 " "	安藤 正義	マルチプル 1 回目
6 " "	浅井 利勇	マルチプル 1 回目	36 " "	古川 秀夫	マルチプル 1 回目
7 1995 年 (平成 7 年)	石野 仁	マルチプル 1 回目	37 2000 年 (平成 12 年)	小川 計司	マルチプル 2 回目
8 " "	土屋 康郷	マルチプル 2 回目	38 " "	辻村 良輔	マルチプル 2 回目
9 " "	荒木 正直	マルチプル 1 回目	39 " "	山本 忠司	マルチプル 2 回目
10 " "	南部 裕	マルチプル 4 回目	40 " "	小林 善喜	マルチプル 2 回目
11 " "	井上 正民	マルチプル 1 回目	41 " "	並木 孝治	マルチプル 1 回目
12 " "	若林 博美	マルチプル 1 回目	42 2001 年 (平成 13 年)	猪野 章	マルチプル 1 回目
13 1996 年 (平成 8 年)	大坪 成彬	マルチプル 2 回目	43 " "	井合 雅美	マルチプル 1 回目
14 " "	杉田 憲治	マルチプル 1 回目	44 " "	土屋 恵司	マルチプル 1 回目
15 " "	稗田 博昭	マルチプル 1 回目	45 " "	南部 裕	マルチプル 6 回目
16 " "	金杉 雄幸	マルチプル 1 回目	46 2002 年 (平成 14 年)	高山 友二	マルチプル 1 回目
17 " "	川口 順司	マルチプル 2 回目	47 " "	飯田 久衛	マルチプル 1 回目
18 " "	小川幸三郎	マルチプル 1 回目	48 " "	齋藤 栄治	マルチプル 1 回目
19 " "	杉原 歌子	故杉原会員夫人	49 " "	神定 一雄	マルチプル 1 回目
20 " "	菅原 實	マルチプル 1 回目	50 " "	長尾 邦俊	マルチプル 1 回目
21 " "	岩澤 和夫	マルチプル 2 回目	51 " "	小安 輝幸	マルチプル 1 回目
22 " "	三宅 英雄	マルチプル 2 回目	52 2004 年 (平成 16 年)	安藤 正義	マルチプル 2 回目
23 1997 年 (平成 9 年)	斉藤 英行	マルチプル 1 回目	53 " "	秋葉 芳秀	マルチプル 2 回目
24 " "	辻村 良輔	マルチプル 1 回目			
25 " "	安藤 昇一	マルチプル 1 回目			
26 " "	今井 利雄	マルチプル 1 回目			
27 " "	小川 計司	マルチプル 1 回目			
28 " "	高橋 美光	マルチプル 1 回目			
29 " "	山本 忠司	マルチプル 1 回目			
30 " "	小林 善喜	マルチプル 1 回目			



ベネファクター

1	南部	裕	会員	1993 年 (平成 5 年 2 月)
2	高橋	美光	会員	1993 年 (平成 5 年 4 月)
3	小川	計司	会員	1993 年 (平成 5 年 4 月)
4	石野	仁	会員	1994 年 (平成 6 年 11 月)
5	小林	善喜	会員	1995 年 (平成 7 年 7 月)
6	金杉	雄幸	会員	1996 年 (平成 8 年 12 月)
7	辻村	良輔	会員	1997 年 (平成 9 年 12 月)
8	山本	忠司	会員	1999 年 (平成 10 年 12 月)
9	小林	清益	会員	2000 年 (平成 12 年 1 月)
10	今井	利雄	会員	2001 年 (平成 13 年 1 月)
11	安藤	昇一	会員	2002 年 (平成 14 年 2 月)
12	並木	孝治	会員	2004 年 (平成 16 年 5 月)
13	金杉	雄幸	会員	2004 年 (平成 16 年 5 月)
14	小林	信雄	会員	2011 年 (平成 23 年 4 月)
15	菅原	實	会員	2011 年 (平成 23 年 7 月)
16	高橋	邦夫	会員	2011 年 (平成 23 年 9 月)
17	古川	秀夫	会員	2012 年 (平成 24 年 8 月)
18	鈴木	康道	会員	2012 年 (平成 24 年 8 月)
19	野口	雅子	会員	2013 年 (平成 25 年 8 月)



2014～2015 年度
年間活動計画

東金ロータリークラブ
会長 高 橋 邦 夫
幹事 小久保 良 行

会 計

会 計 秋葉 芳秀

会計は、理事会で承認された予算に基づき、会長、幹事の決済により、業務を執行します。

各委員会は予算を計算しながら予算内に収まるように、ご協力お願い致します。

S・A・A

S・A・A 野口 雅子

例会が規律正しく、和やかに進行できるように、会場監督をしていきたいと思います。
東金ロータリークラブの歴史を踏まえ、ロータリアンであることに誇りを持ち、奉仕の心を忘れずに、行動していきたいと思います。



クラブ奉仕委員会

クラブ研修委員会

委員長 古川 秀夫

基本的に前年度の方針を踏襲し、会員増強・クラブ広報・親睦クラブ管理委員会の活動が連携をとりながらスムーズに運営できる環境を作り、短期・中期・長期計画の取り組みを行います。

新入会員及び入会5年未満の会員には地区行事への積極的な参加、近隣クラブへのメイキヤップへの同行によりクラブ間の親睦と友好関係を深め当クラブの成長を促します。

広報活動においても、会員増強のための活動の一環として週報の充実と、新入会員の増大のためのツールとして会員候補に配る等の行動を起こします。

各委員会の委員長・委員の活動状況を発表する時間を作り、全員参加型クラブの体制を構築し、活性化に繋げられる場を作ります。

会員増強委員会

委員長 中村 隆則

1. 毎例会ごとに、入会候補者への働きかけ情報を発表しあい、情報の共有化をはかり複数人で勧誘活動を行う。
2. 四半期ごとの入会目標値を最低1件とし、実績を検証する。
3. 各種団体との連携を強化し、ロータリアンに相応しい人物の紹介をいただき、徹底した種まきを行う。



広報委員会

委員長 岡本 秀男

1. クラブホームページを閲覧される方々に、興味を持っていただけるような内容にいたします。
 - (1) 最新情報のアップロードに努めます。
 - (2) 新会員の増強にもつながるような掲載に努めます。
2. 週報はクラブ活動の内容や、例会の状況が解るような充実した紙面に致します。
 - (1) 見やすく・読みやすい紙面づくりに努めます。
 - (2) 欠席会員にも情報が伝わる紙面づくりに努めます。
 - (3) 会員増強ツールとしても役立つ紙面づくりに努めます。

親睦活動委員会

委員長 長尾 邦俊

- ・ 会員交流の場を作り、和やかな例会に努めていく。
- ・ 創立 55 周年例会・東金ビューロータリークラブ合同新年会・成田空港南ロータリークラブ合同例会を企画する。
- ・ 一泊家族旅行を計画する。
- ・ ニコニコボックスに入れていただいた会員に直接発表していただき会員一同、喜び・悲しみを分かち合える場を作っていく。
- ・ 受付は四人一組で偶数月・奇数月に分けましたのでよろしくお願いします。
(奇数月) 並木・渡邊・平間・渋谷 (偶数月) 原島・塚瀬・鈴木・長尾



管理運営委員会

委員長 並木 孝治

1. 会の活力を高める為に、会長・幹事・役員との連携を密に取り、『高潔・寛容』を兼ね備えたメンバー構成による東金ロータリークラブ卓話を目指します。
2. 今すぐ出来る事項から着手いたします。
 - ①全会員の出欠状況の公示。
 - ②卓話に対する全会員の意識と責務を高める為、年当初に『卓話会議』を開く。
 - ③炉辺会議の効果が大有る事から参加者増を目指す。

職業奉仕委員会

委員長 菅原 實

1. 職業奉仕がロータリー活動の原点であることを再認識し、職業倫理を高めるために有効な情報を継続的に会員に提供する。
2. 特に職業奉仕月間である 10 月には、然るべき卓話を実施する。
3. 地域で生き生きとした活動を実践する職場を訪問する。

社会奉仕委員会

委員長 原島 和雄

東金ロータリークラブの社会奉仕委員会は、前年度の活動計画を引継ぎながら、より地域への社会奉仕活動を推進する。

- 1) 子ども達に夢をあたえる活動の支援
 - 2) 「花の街・東金プロジェクト」への支援
 - 3) 東金駅周辺の清掃活動
-



青少年奉仕委員会

委員長 渡邊 直樹

急激な時代の変化に伴い、新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来をもたらすために、新世代人の将来への基本的ニーズを支援するプロジェクトを推進していく。

1. 青少年団体活動の支援及び指導者との交流会の開催
2. 新世代の多様なニーズを共有するため若い世代人との交流会の開催

国際奉仕委員会

委員長 塚瀬 一夫

1. ロータリアンとして国際理解と親善、世界平和を推進するため、会員の理解を深め国際奉仕への意義を高められる活動をする。
2. ロータリー財団委員会、米山奨学委員会の内容を把握し、目標に向け協力する。
3. ロータリー国際奉仕プロジェクトの内容を把握し、会員へ情報提供する。
4. 東金国際交流協会と奉仕事業を共催する。

ロータリー財団委員会

委員長 安藤 正義

当委員会は、RIの目的である国際理解と世界平和の実現に必要な活動を続けていくことに積極的に支援していくことにあり、次のプログラムを実施します。

1. 年次寄付1人当たり130ドルの要請に協力する。
 2. ポールハリスフェロー会員100%達成を実現します。
 3. ベネファクターに協力します。
 4. 未来の夢計画について、協議検討する。
-



米山奨学委員会

委員長 小林 信雄

クラブ米山記念奨学委員会は「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」の事業に対して寄与貢献することが与えられた役目である。その事業とは、日本へ留学している外国人学生に対してロータリアンの寄付金から奨学金を支給し、彼らの母国と日本との懸け橋となり、延いては、将来、世界平和に貢献できるような人材の養成を目的としている。

当委員会の具体的な役割は、ロータリアンの米山記念奨学会への寄付金奨励、奨学生および学友とロータリアンとの交流促進、さらには奨学制度そのものの広報活動にある。

2014 年－2015 年度東金ロータリークラブ米山奨学委員会は以下の活動を目途にする。

1. 米山記念事業の意義を理解習得するために地区主催行事に積極的に参加する。
2. 米山地区委員を始めとして関係者への卓話依頼、世話クラブではないが奨学生、学友のホームカミングを含めた交流プログラムの企画と実行。
3. 寄付増進奨励

米山記念奨学会への寄付には「普通寄付」と「特別寄付」がある。「普通寄付」は半期ごとに一人分の金額を会員数分クラブとして寄付するものである。また、「特別寄付」は任意の寄付であって、これには個人寄付・法人寄付・クラブ寄付の 3 種類あるが、クラブ委員会としては昨年度個人寄付平均寄付額 15,046 円を少なくとも上回る寄付額に収まるよう奨励し働きかけを行う。
